

平成26年度(2014年度)

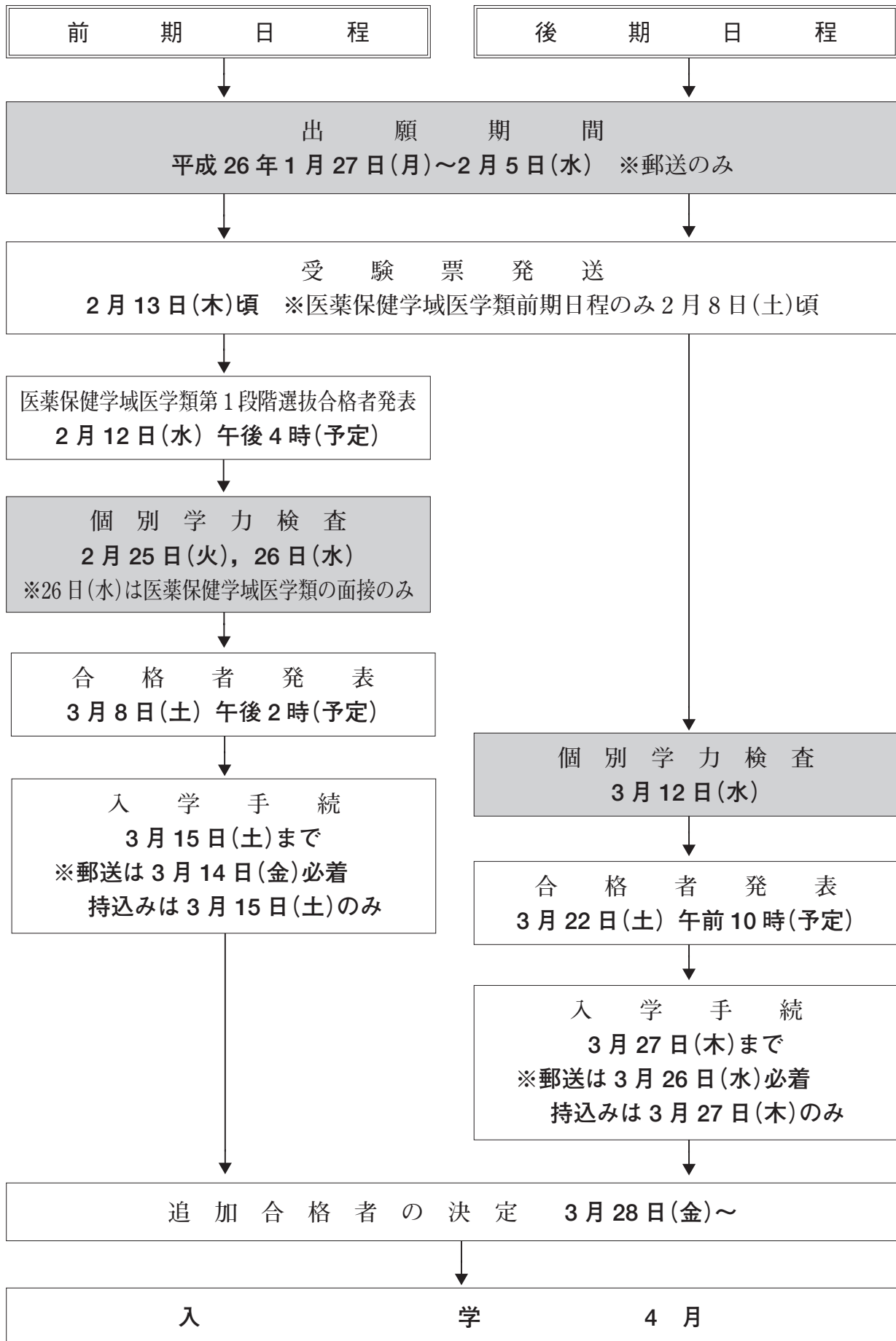
KANAZAWA UNIVERSITY

金沢大学
一般入試



学生募集要項

平成 26 年度 入学者選抜（一般入試）日程の概要



目 次

〔共 通〕

1. 入学者受入方針	2
2. 募集人員	8
3. 入学者選抜	9
4. 出願資格	9
5. 出願手続	
(1) 出願期間	9
(2) 出願方法	10
(3) 出願に必要な書類等	10
(4) 出願書類等の提出先	11
(5) 大学入試センター試験受験教科・科目 自己確認表	12
6. 障がいのある者等の出願	20
7. 受験票の送付	20
8. 個人情報の保護	20
9. 問い合わせ先	21
10. 入試情報の提供	21
11. 入学試験の個人成績の開示	22

〔前期日程〕

1. 入学者選抜方法等	
(1) 入学者選抜方法	23
(2) 併願	23
(3) 2段階選抜の実施	23
(4) 実施教科・科目等	24
(5) 採点・評価基準（個別学力検査）	32
(6) 試験期日	32
(7) 試験時間割	32
(8) 試験場	33
2. 合格者発表	33
3. 入学手続	34
4. 欠員補充の方法	34

〔後期日程〕

1. 入学者選抜方法等	
(1) 入学者選抜方法	35
(2) 併願	35
(3) 実施教科・科目等	36
(4) 試験期日	40
(5) 試験時間割	41
(6) 試験場	41
2. 合格者発表	42
3. 入学手続	42
4. 欠員補充の方法	42

〔学生生活〕

1. 入学時に必要な経費	44
2. 入学料免除	44
3. 入学料徴収猶予	45
4. 授業料の納入	45
5. 授業料免除	45
6. 金沢大学学生特別支援制度	46
7. 奨学金	47
8. 学生寮	47
9. アルバイト	48
10. 保健管理センター	48
11. 学生教育研究災害傷害保険	48
12. 携帯型パソコンの用意について	48
13. 申請書類等の請求及び照会先	49

〔キャンパスマップ〕

1. 金沢大学所在地略図	50
2. 金沢大学キャンパス配置図	51

(注)・本入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
・推薦入試、帰国子女入試及び私費外国人留学生入試については、「平成26年度金沢大学学生募集要項 推薦入試・帰国子女入試・私費外国人留学生入試」を参照してください。

『自然災害により被災された受験生の皆さまへ』

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学のを確保するため、入学検定料免除の特別措置を講じます。対象となる自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。

金沢大学ホームページ：<http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/admission/index.html>

入学検定料の免除を希望される方は、出願前に本学学生部入試課までご連絡ください。

1. 入学者受入方針

《人間社会学域》

【人文学類】

人文学類では、広範な人間の行動・思考・創造と、その蓄積としての思想・歴史・文化、あるいはそれらすべてに関わる言語等を学問的に取り扱い、これら諸学問の専門知識を有し、総合的・学際的視野を持った人材の養成を目指します。例えば、情報処理能力と柔軟な思考力をもって組織をリードできる人、社会調査・フィールドワークを企画・実施する能力を有する人、外国語コミュニケーション能力を有し国際的に活動できる人など、学術上の基礎訓練を活かし活躍できる人材の養成を目標とします。

2年進級時に15の専門分野のうちから、本人の希望、学業成績等を考慮の上、所属する専門分野を決定します。なお、選抜の基本方針としては、基礎学力に加え、前期日程では人文学類の基本的科目である国語・外国語能力、後期では小論文課題の理解力・論理的思考力・表現力等を重視します。

求める人材

- ・人間の行動や思想に積極的な関心を持ち、人間探求に挑もうとする人
- ・社会や文化に関する課題を発見し探求する能力を高めたいと思っている人
- ・個性的な発想や観察眼・思考方法の能力を伸ばしたいと思っている人
- ・フィールドワークに興味を持ち、調査方法・情報整理能力を身につけたい人
- ・外国事情に関心を持ち、外国語のコミュニケーション能力を高めたい人

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

人文学類で学び、探求する事柄は、人間に関する様々な事象が対象となりますので、高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力を身につけておくことが望まれます。

【法学類】

法学類は本学独自の「学類」という名称を冠していますが、学べる内容は他大学の法学部と同じです。起源は1949年に創設された法文学部法学科であり、1980年には法学部へ改組し、また2008年には現在の法学類となりました。この間、国内外の社会状況は大きく変化し、また、今後も常に変化しつづけることが予想される中で、個々人が他者と共生していくために必要である法と政治に関する基本的な理念や知識は昔も今も不変であり、そして将来も不変でありつづけることでしょう。このような認識の下、法学類では、法学・政治学を体系的に学ぶことを基本としつつ、さらに、現代社会の課題を発見し解決するためには欠かすことのできない、他者に対する共感力と、問題解決のための創造力を養うことを目標としています。

法学類生の主要な進路は官公署・企業・大学院です。その

ため、法学類では、希望進路に対応する、公共法政策・企業関係法・総合法学という3つのコースを設けています。各コースへの所属は3年進級時に決定します。その際、総合法学コースを志望するためには、2年前期までの成績が一定基準であることを条件とし、さらに志望者多数の場合は面接等に基づく選考を行います。他の2コースは希望通りの所属となります。なお、選抜の基本方針としては、基礎学力に加え、前期日程では外国語と国語あるいは数学の能力、後期では小論文課題の理解力・分析力・表現力等を重視します。

求める人材

- ・大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えている人
- ・社会問題に関心を持ち、よりよい社会実現のために貢献したいと願っている人
- ・論理的思考や情報分析を通じて、また、過去の歴史的経緯をふまえつつ、社会現象の本質を探究したいという意欲のある人

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

- ・高等学校で履修した様々な科目の内容について理解していること
- ・法律や裁判例の読解、政治的問題の把握、これらに基づく私見の提示・論述、に必要な国語力を十分に修得していること
- ・社会的・国際的諸問題の本質を探究し、その解決を図るために必要な社会科目や外国語科目の学力を十分に修得していること

【経済学類】

経済学類では、現代社会において国、国の中の地域、国を越えた各地域で起きている様々な問題に、①経済理論に基づく解釈と政策的解決策の検討、②経営・会計・情報の観点からの企業活動の分析、③世界各地の経済と社会の比較考察という三つの経済学的アプローチから迫ります。そのためには経済学を体系だって学ぶことと同時に、その一部を深く専門的に学ぶことが必要であり、経済学類は、そのどちらも満たすカリキュラムを提供することによって、現代の様々な問題に的確かつ迅速に対処することができる専門的知識を持った人材の養成を目標とします。

経済学類には、経済理論・経済政策コース、経営・情報コース、比較社会経済コースがあります。各コースへの所属は、3年進級時に本人の希望、適性、成績等を考慮の上決定します。

なお、選抜の基本方針としては、基礎学力に加え、前期日程では国語・外国語・数学の能力、後期では小論文課題の理解力・表現力等と英語力を重視します。

求める人材

- ・経済理論を基礎としながら、現代社会の諸問題の分析と解決に挑みたい人
- ・国や地域社会の仕事に携わるために必要な専門的知識を身に付けたい人
- ・即戦力として、あるいは起業家として、ビジネス界で活躍したいと考えている人
- ・日々の国際的な出来事や企業の動きに鋭敏にアンテナを張

り巡らせている人

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域においても、国際的な分野においても、人間社会で活躍するためには、国語・英語および情報処理の基本的な力は不可欠です。また経済学類では、特に数学の知識を前提にした授業を履修することも求められます。さらに現代社会の経済およびそこでの日本の位置づけを理解するためには、その前提として地理歴史・公民の知識が必要となります。現代の環境や技術革新の問題を学ぶためには、これと密接に結びついた科学技術の知識が必要であり、理科を学んでおくことも望まれます。

【学校教育学類】

「空洞化」した学びを立て直していくには、教師に教科等に関する専門的な知識や技能及びそれらを教授する能力に加え、グローバルな視野に立って考え行動する市民的教養と行動力が求められます。また、様々なトラブルをかかえた子どもたちと向き合うためには、子どもたちに共感し、子どもたちの世界を読み開く能力も求められます。学校教育学類は、こうした力量を持った義務教育段階の諸学校の教師を組織的、計画的に養成することを主たる目標にしており、専門職としての教師への熱意にあふれた人材を求めます。

学校教育学類には、教育科学コースと教科教育学コースのもと、教育基礎、特別支援教育、国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、家政教育、英語教育の11の専修があります。各専修への所属は2年進級時に、本人の希望、適性等を総合的に考慮したうえで決定します。なお、選抜の基本方針としては、基礎学力に加え、英語、そして国語・数学・理科から1教科を課して学力を多角的に評価します。

求める人材

- ・専門職としての教師への熱意が旺盛である人
- ・社会、自然、人間、文化、教育について深い関心を持っている人
- ・自分の見解を表明できると同時に、他者の見解や感情を理解することができる人
- ・人類的課題に地域や学校で取り組んでみたい人

入学までに求めること

本学類では、小学校一種免許状と、中学校一種免許状あるいは特別支援学校教諭一種免許状の取得に必要な科目の履修が卒業要件となっていることから、次の三点が望まれます。

- ・小学校の全教科を含む、学校教育の全般についての基礎的な知識や技術を身につけておくこと
- ・大学で専門とする予定の分野に関する興味・関心を深めておくこと
- ・これまでの学校経験を省察するなどして、学校や教師のあり方について自分なりの考えを持っておくこと

【地域創造学類】

地域創造学類は、それぞれの地域が持つ自然的・文化的資源、伝統、人材、資金、社会関係などを総合的に活用し、自

治を活かした地域固有のスタイルで住民の福祉・文化・産業・環境を発展させ、質の高い個性ある地域生活を計画・設計・政策立案し、地域づくりのリーダーとして活動できる能力を持つ人材を育てることを教育理念・目標としています。

地域創造学類には福祉マネジメント、環境共生、地域プランニング、健康スポーツの4つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、適性、学業成績等を考慮のうえ決定します。なお、選抜の基本方針としては、基礎学力に加え、前期日程では国語・数学・外国語から2教科を課して多角的な評価をし、後期では論理的思考力・表現力等と課題に対する問題意識・知識等を評価します。

求める人材

- ・地域の歴史・文化・環境・経済・生活に積極的な関心を持っている人
- ・個性ある地域を創造していくことに強い意欲を持っている人
- ・地域との具体的な関わりの中で、福祉・環境・文化・健康スポーツを中心に学びたい人
- ・地域における豊かな暮らしの創出に取り組む職業に就くことを希望する人

入学までに身につけて欲しいこと

- ・地域創造学類では、福祉、環境、地域プランニング、健康スポーツの側面から、総合的に地域について学ぶことから、文系・理系科目両面にわたり、高等学校で学ぶ教科全般について理解しておくことが求められます。
- ・地域創造学類では、地域の問題を調査・分析し、政策立案できる能力の修得を目指しています。その前提として、地域社会に対して強い関心を持ち、自ら主体的に情報を集め、自分なりの考えをまとめられるようにしておくことが望まれます。

【国際学類】

国際学類はグローバル化する世界を多様な観点から理解し、異文化とのくしなやかな共生を実現することのできる国際人を送り出すことを目指しています。この目標の実現のため高校在学中に「英語」や「政治経済」・「世界史」・「地理」などの学習に積極的に取り組み、これらの教科の知識を十分に獲得した数多くの学生が、本学類を受験してくれることを期待します。もちろん入学後の研究主題によっては、これらに加えて「倫理」など様々な教科を学ぶ必要もあるでしょう。また真の国際人として活躍できるよう、自国の歴史・文化についての教養も不可欠です。そこで受験生のみみなさんに、日本理解の基礎として「日本語」（国語）及び「日本史」の学習を強く推奨します。「日本語」により読み・書き・話すことへの能力は、大学で高度な知的訓練を受けるにあたり絶対必要な条件です。また国内外において外国の人々と、積極的にコミュニケーションする意欲をもつことが望まれます。従って、選抜の基本方針としては、基礎学力に加え、前期日程では国語・英語の学力、後期では英文を含む小論文課題の読解力・分析力・思考力・表現力等を重視します。

求める人材

- ・高校時に学習する「政治経済」、「世界史」等の知識を踏ま

- え、国際社会に生じている諸問題や他民族・多文化に対する探究心をもっている人
- ・国際化する現代社会のなかで、日本文化やその基礎にある日本語の存在意義をより深く考えようとする人
 - ・以上のような諸問題に取り組むためのツールとして、「英語」をはじめとする各国語を進んで学習する意欲をもつ人
 - ・将来国際的専門職に従事する夢をもっている人

《理工学域》

【数物科学類】

数学、物理学は現代のあらゆる科学、特に自然科学の基礎をなす学問として重要な位置を占めています。数学、物理学は個々の学問として発展してきたと同時に、互いに刺激しながら発展してきました。また、計算機シミュレーションという新しい研究手段の導入によって、これまで困難とされていた複雑な自然現象の理解にも大きな進展をもたらしています。数物科学類は、このように21世紀の科学として発展を遂げつつある新しい数学、物理学、計算科学の魅力を学び、その発展に寄与できる人材を育成します。

数物科学類には数学、物理学及び計算科学の3つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望により決定します。

高等学校等の課程において、5教科7科目（数学、理科、外国語、国語、地理歴史・公民）又はそれに相当する科目を学び、そこで学習したことを十分に身に付けておくことが必要です。なお、選抜の基本方針としては、基礎学力に加え、前期日程では数物科学類にとっての基本的科目である数学・理科及び英語の学力、後期では数学・物理の基本的理解度を重視します。

求める人材

- ・数学や物理学が好きで、それに取り組む熱意と探究心をもっている人
- ・計算機シミュレーション及びそれをを用いた科学研究に興味のある人
- ・将来、数学、物理学、計算科学あるいはその関連分野の研究や教育に携わりたい人
- ・基礎科学をじっくりと学び、それを社会の発展に活かしたいと考えている人

【物質化学類】

化学は自然界で起こる様々な現象の原子・分子レベルでの理解から、21世紀に必要とされる環境に適合した新しい機能性物質の創製、さらに日常生活を支える様々な化学製品の開発と製造過程に至るまでの幅広い領域を含んでいます。物質化学類では、化学を通じて人類が自然と共生しながら持続的に豊かに生きるための科学・科学技術・文化の発展と充実に貢献することができる人材の育成を目標としており、“独自に考える力”と“未知の分野に対する強い探究心とチャレンジ精神”の旺盛な人の入学を期待します。

物質化学類には化学と応用化学の2つのコースがありま

す。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。なお、選抜の基本方針としては、基礎学力に加え、前期日程では物質化学にとっての基本的科目である数学・化学及び英語の学力、後期では化学の知識・理解度を重視します。

求める人材

- ・自然現象の観察と実験に強い興味を持ち、実験を通して創造的に自然に関わりたい人
- ・独自に考える力と自然に対する好奇心を持ち、発見の感動を味わいたい人
- ・研究を通して得た成果を社会や自然界へ応用することに意欲がある人

入学までに身につけて欲しいこと

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）について十分に理解できていることが必要です。さらに、化学を含む理系科目（理科、数学）は理学・工学の基礎となる科目ですので非常に重要です。文系科目（国語、外国語、社会系科目（地歴・公民）も自分の意見をまとめコミュニケーションを行うために必要です。また、高校生活の中で、日常的な科学現象に興味を持ち、それらを意欲的に探究する姿勢を身につけてください。

【機械工学類】

本学類では、技術革新の基盤となる機械工学の技術者・研究者として、モノづくり工学の社会的使命と責任を果たし広く活躍する人材を育成します。そのために、技術の革新的な進歩に貢献する能力と、技術と人間社会との調和を図る素養の修得を目的とした、工学のみならず、数学・物理学の基礎から、機械工学の先端的な分野、技術を取りまく社会・環境に関する分野までの研究・教育を行います。本学類は、機械の高度化、知能化、超精密化を目指す、ロボティクス、航空宇宙工学、ナノテクノロジーなどの未知の領域に挑む先進的な機械工学分野や、医療福祉機器、生活支援機器、新エネルギーの開発や環境保全を目指す、人と自然に優しい機械工学分野に興味がある人材の入学を期待します。

機械工学類には機械システム、知能機械、人間機械及びエネルギー環境の4つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。なお、選抜の基本方針としては、基礎学力に加え、前期日程では、機械工学にとっての基礎となる数学・物理・英語の学力、後期日程では、数学・物理の学力を重視します。

求める人材

- ・先端機械工学への興味、モノづくりへの熱意、人間支援に対する高い志を持つ人
 - ・地球環境への関心が高くグローバルな視野と外国語能力の向上に意欲を持つ人
 - ・独創性と創造性が豊かで自ら問題点を解決する意欲を持つ人
- 入学前に身につけておくべき教科・科目等**

大学入試センター試験で課している科目（理系科目及び文系科目）および一般入試の個別学力検査で課している科目（数学・理科・英語）について、十分理解しておくことが必要で

す。また、身の回りの“もの作り”の仕組みから日常的な科学現象まで、幅広い興味と探究心を持つことが望まれます。

【電子情報学類】

電子情報学類が対象とする分野は、大小様々な機器の動作に不可欠なエネルギー・制御・半導体・集積回路技術、情報産業のインフラであるコンピュータ・通信技術、バイオと情報通信技術（ICT）の融合した生命情報からなり、相互に強く関連しながら発展している分野です。電子情報学類では、地球的視点や技術者としての倫理観を持ちながら、当該分野における新分野開拓に強い意欲と能力を有し、個性の輝く自立した電気・電子・情報・通信・生命情報工学技術者の養成を目標としています。

電子情報学類には電気電子、情報システム及び生命情報の3つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。なお、選抜の基本方針としては、基礎学力に加え、前期日程では電子情報分野の基本的科目である数学・物理及び英語の学力、後期では数学の理解度・数学的思考方法及び表現力を重視します。

求める人材

- ・数学が得意な人、積極的に物理学、数学、生物学の応用に取組みたい人
- ・科学実験やコンピュータに関心があり、科学技術の課題を見つけて創意工夫をしたい人
- ・コンピュータのハードウェア・ソフトウェアを学び、高度情報化社会に貢献したい人
- ・エネルギー、エレクトロニクス、通信、ICT技術を身につけて国内外の幅広い分野で活躍したい人

入学までに学んでおいて欲しいこと

大学入試センター試験で課している科目においては、理数系科目及び文系科目ともに重要ですので、きちんと習得してください。また、一般入試の個別学力検査で課している科目（数学、物理、英語）については、入学後の本学類における授業及び研究の基礎として非常に大切ですので、しっかりと学び、身につけておいてください。

【環境デザイン学類】

私たちの生活には、地球環境から生活環境までの安全・安心な環境や豊かな暮らしを支える道路・橋梁・堤防などの社会基盤が不可欠です。環境デザイン学類では、地球環境だけでなく、生活環境や社会基盤の整備などを含めた広い意味で（私たちの暮らしのための）「環境」というものを捉え、「環境」について総合的・実践的に教育・研究を行います。

環境デザイン学類には土木建設、環境・防災及び都市デザインの3つのコースがあります。各コースへの所属は3年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

なお、選抜の基本方針としては、基礎学力に加え、前期日程では本学類にとって基本的科目である数学・理科及び英語の学力、後期での面接試験では表現力、勉強意欲、適性等を重視します。

求める人材は、地球環境から生活環境までの様々な自然・

人間・社会環境に対する調査や分析と共に、それらに配慮した国土創造、安全・安心な社会基盤や都市のデザインに興味があり、かつ、次のような特性を有する、意欲ある人です。

求める人材

- ・理数系科目はもとより、人文社会系科目にも興味のある、オールラウンドな実力のある人
- ・地域貢献や社会正義について大いに関心のある人
- ・環境問題をはじめとする社会の動きにいつも関心のある人
- ・創意工夫をすることの好きな人

入学までに学んで欲しい科目

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）について、しっかり理解しておくこと。本学類の科目を着実に習得するには、特に数学（Ⅲ，Cまで）、物理、化学について十分な学習が望まれます。また、総合的な学力を身に付けるために、理系のみならず、人文社会系科目の学習も勧めます。

【自然システム学類】

生物・人間・物質・地球で形成されるシステムを自然システムとして捉え、理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につける教育を行い、生物学、バイオ工学、物質工学、環境科学、地球科学の総合的観点から、このシステムの基本を追及する研究者、その成果を人々の豊かな生活の実現に応用できる技術者、これらの知識の普及や人材育成に貢献できる教育者を養成します。自然システム学類では、科学的探究心に富み、これらの分野の専門知識を生かして活躍したいと考えている学習意欲のある人の入学を期待します。

自然システム学類には生物学、バイオ工学、物質循環工学及び地球学の4つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。なお、選抜の基本方針としては、基礎学力に加え、前期日程では本学類で学ぶ上での基本的科目である数学・理科及び英語の学力、後期の小論文では課題に対する理解力・論理的思考力・独創性等を重視します。

求める人材

- ・自然現象に対して興味を持ち、理科系科目が得意で、実験や野外調査が好きな人
- ・生物学、バイオ工学、物質工学、環境科学、地球科学の分野で専門家や教育者の道に進みたい人
- ・理学と工学の基礎知識を備えてグローバルな考えを持ち、生命・バイオ・材料・環境分野で活躍したい人

入学までに身につけて欲しいこと

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目を含む）について、しっかりと理解しておくこと。自然科学全般に広く興味を持って勉強してください。

《医薬保健学域》

【医学類】

医学類は、従来の医学部医学科に相当し、卒業生には医師国家試験の受験資格が与えられ、合格することによって医師

として登録されます。医学類の教育理念は、「人間性を重視し、かつ高度で総合的な能力を有する医療人・医学者の育成を図ることにより、国民の医療、健康、福祉に貢献する」こととあります。そのために、「幅広い教養、豊かな感性と人間性への深い洞察力を持ち、コミュニケーション能力を備え、患者中心の全人的医療ができる医師と医学者」を育てることを教育目標とします。また、国民の多様かつ高度な医療ニーズに応じていくためにも「明確な目的意識、強い使命感、高い倫理観と協調性」を備えた人材を求めます。なお、選抜の基本方針としては、高等学校教育で求められるすべての科目における基礎知識・技能に加え、医学にとって基本的科目である数学・物理・化学・英語の学力、面接においては幅広い教養と、倫理観・意欲・将来性・向上心・資質等を重視します。

求める人材

- ・高度専門職業人としての医師，研究心を持った医療人を目指す人
- ・医学研究者を目指す人
- ・厚生医官，法務医官，自治体，保健所など医療行政の分野で活躍したい人
- ・世界保健機構などで医学医療の分野で国際貢献したい人
- ・医薬開発，医療器械開発，バイオ技術開発などのビジネス領域で活躍したい人

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目を含む）について、しっかりと理解しておくこと。

【薬学類】

薬学が人間の生命に関わる学問であることを踏まえ、豊かな人間性・高い倫理観と幅広い教養の上に、薬の専門家としての責任感を備えた、医療及び産業分野の発展と改善に資する先導的な薬剤師の養成を図ります。また、薬剤師資格を有する高度に専門的な教育者や研究者を目指す人には、卒業後、博士課程（4年制）に進学することを勧めます。なお、選抜の基本方針としては、高等学校での高いレベルの基礎学力と、特に理数科目での秀でた学力を身につけた人材を選抜します。

求める人材

- ・薬の専門家として人の命と健康な生活を守ることを通して社会に貢献することを希望する人

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）について、しっかりと理解してください。特に、理数科目の高い基礎学力と理解力が求められます。

本学においては薬学類・創薬科学類を一括して学生募集を行い、共通する基礎・専門科目や早期体験等の初期学習を経た後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を決定する経過選択制を導入しています。

【創薬科学類】

知的集約産業である製薬企業等において創薬研究開発・医

療情報提供に携わる人や創薬分野における大学の研究者及び国公立行政機関において衛生行政等に携わることのできる人等多様な人材の養成を図ります。とりわけ研究者を養成することを主目的としますので、卒業後は、大学院博士前期課程（2年間）、さらには博士後期課程（3年間）へと進学することを勧めます。なお、選抜の基本方針としては、高等学校での高いレベルの基礎学力と、特に理数科目での秀でた学力を身につけた人材を選抜します。

求める人材

- ・自然科学に対する研究心旺盛な人

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）について、しっかりと理解してください。特に、理数科目の高い基礎学力と理解力が求められます。

本学においては薬学類・創薬科学類を一括して学生募集を行い、共通する基礎・専門科目や早期体験等の初期学習を経た後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を決定する経過選択制を導入しています。

【保健学類】

保健学類は、「保健・医療・福祉における科学的な知識・理論・技術の修得と課題探求能力を養成し、豊かな教養と人間性を備えた高度専門医療人と保健学研究者を育成し、国民の医療・福祉の発展に寄与すること」を基本理念とします。教育目標は、1）現代社会の抱える諸問題を総合的に洞察できる能力の育成、2）日本語・外国語による討議・発表能力の育成、3）保健学における基礎的知識と専門的知識・技術の修得、4）保健学の知識・技術を活用した課題探求能力の育成、5）豊かな人間性と高い専門職業人としての倫理観など医療人としての社会的使命感の涵養、6）学際的保健学知識の統合による教育・研究能力の育成であります。

保健学類では、国家試験受験資格の取得のためのカリキュラム編成が行われており、このため募集単位は看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学療法専攻、作業療法専攻の5専攻を設けます。なお、選抜の基本方針としては、基礎学力に加え、前期日程（全専攻）では理科と英語の学力、後期日程（3専攻）では面接試問での理解力・表現力・勉学意欲・資質適性等を重視します。

①看護学専攻

看護科学は、人間の誕生から死までを包括的に捉え、環境に適應しながら健康に生活することを支援する学問です。看護学専攻では、健康に関わる知識と技術を体系的に学習します。さらに、学内及び学外の医療、保健関係現場での実習を通じて、高い倫理観、専門職としての使命感、医療チームの一員としての責任を学びます。また、研究やゼミを通し、将来の医療科学を担う者として幅広い科学的知識、問題解決方法などを学び、将来の進歩や変化に対応するための能力を養うと同時に、実践力のある指導者、教育者、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、看護師、*保健師の国家試験受験資格を取得すること

ができます。

※保健師課程については、平成26年度入学生から選択制とする予定で準備を進めています。詳細は随時、保健学類HPなどに掲載していきますので、保健師を希望している方は確認して下さい。

求める人材

- ・看護の専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の健康、医療問題に対して国際的視野で貢献したいと強く願う人
- ・保健の分野で、新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・看護学及び看護の進歩のために、将来のリーダーとなる夢を持つ人

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

- ・論理的思考力・表現力を身につけるため、文系科目と理系科目の幅広い基礎学力の習得を望みます。

②放射線技術科学専攻

診療放射線技師として保健医療を支える有能で意欲のある人材を育成することを目標とします。放射線技術科学専攻では、放射線、磁気や超音波を使用した医療機器の原理や特性、情報処理技術、各種の医療画像形成法、人体の形態、機能並びに医薬品に対する生物学的特性など広範囲の学問を修め、高度な医療や放射線機器の進歩に対応できる能力を養います。また、放射線を含む量子医療技術について基礎から臨床まで幅広い教育研究を行います。卒業時には、診療放射線技師の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

- ・診療放射線技師として保健医療を支えることができる有能な人
- ・高度先進医療に対応し常に努力することができる人
- ・専門的な知識を習得するのみならず研究・思考することができる人
- ・患者の立場に立って行動・発言できる豊かな人間性を持つ人

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

文章を正確に読解し、事象に応じて的確に記述する国語・英語力の習得を望みます。また科学的な視点で事象を読解するための基礎的な知識が必要であり、理科・数学を学んでおくことも望まれます。

③検査技術科学専攻

検査技術科学は、主に病気の診断や治療効果判定に対して重要な情報を提供する臨床検査を学習する学問です。本専攻では臨床検査に関わる知識と専門技術を体系的に獲得し、医療現場での実習を通じて医療チームの一員である専門技術者としての役割を学びます。また、研究室配属を通じて、進歩する医療科学を担う深い科学的考察や革新的技術などを取得する能力を養います。卒業時には臨床検査技

師の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

- ・病める人に対する医療のために、知識や専門技術を高めて、社会に貢献する情熱を持つ人
- ・医療科学の分野で新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・臨床検査技術の進歩に貢献し、将来のリーダーとなる夢を持つ人

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

種々の臨床検査技術における基礎となる理論や科学的考察には、数学、物理、化学及び生物学の考え方や知識が必要で、高等学校においてこれらの教科の履修が望まれます。また、情報収集及び発信に必要な英語の力が求められます。

④理学療法学専攻

理学療法学は、リハビリテーション医療の一専門分野です。種々の疾患や事故などにより、神経、筋、骨格、循環器、呼吸器などに損傷や障がいをもたらした人に対して、運動療法や物理療法を駆使して治療に当たります。理学療法学専攻は、理学療法士となるために必要な治療技術を科学的、実践的に修得するとともに、医療人としてあるべき人間性を育成します。卒業時には、理学療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

- ・豊かな人間性と愛情を持ち、学習意欲の高い人
- ・社会のニーズに応え、努力を惜しまない人
- ・理学療法学の今後を担い、人類社会に貢献できる人

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校までに学ぶ国語、社会、数学、理科、英語について十分な基礎学力を身につけておくことが重要です。

⑤作業療法学専攻

作業療法士として必要な知識、技術、コミュニケーション能力を修得し、専門職としての能力を高めて、研究する態度をもつ人材を養成します。本学の作業療法教育は脳機能解析学や運動器障がいをはじめ、生活能力回復学の領域において幅広い分野の専門教員の下に行われています。作業療法の技術科学を修得し、研究を進め、技術を開発し、社会に役立ちたい人の入学を希望します。卒業時には、作業療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

- ・たゆまず努力して、自分の能力を高めようとする人
- ・専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の新たな能力を引き出し活用する作業療法を修得し発展させたい人

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

理系科目と文系科目の均衡がとれた幅広い基礎学力の習得を望みます。

2. 募集人員

学域・学類等		入学定員	募 集 人 員 (注1, 2参照)					備 考	
			一 般 入 試		推薦入試	帰国子女入試	AO入試		
			前期日程	後期日程					
人間 社会 学域	人 文 学 類	145	105	35	5	若干名	—		
	法 学 類	170	L方式75	30	15	若干名	—	(注3参照)	
			M方式50					(注4参照)	
	経 済 学 類	185	150	25	10	若干名	—		
	学 校 教 育 学 類	100	64	—	36	—	—		
	地 域 創 造 学 類	80	50	10	20	若干名	—		
	国 際 学 類	70	40	15	15	若干名	—		
計	750	534	115	101	—	—			
理 工 学域	数 物 科 学 類	84	69	15	—	若干名	—		
	物 質 化 学 類	81	61	20	—	若干名	—		
	機 械 工 学 類	140	120	20	—	若干名	—		
	電 子 情 報 学 類	108	86	22	—	若干名	—		
	環 境 デ ザ イ ン 学 類	74	64	10	—	若干名	—		
	自 然 シ ス テ ム 学 類	102	82	13	7	若干名	—		
	計	589	482	100	7	—	—		
医 薬 保 健 学域	医 学 類 (6年制)	112	85	—	27	若干名	—		
	薬 学 類 (6年制)	35	70	—	—	若干名	5	(注5参照)	
	創 薬 科 学 類	40							
	保 健 学 類	看 護 学 専 攻	80	55	10	15	若干名	—	
		放 射 線 技 術 科 学 専 攻	40	29	5	6	若干名	—	
		検 査 技 術 科 学 専 攻	40	29	5	6	若干名	—	
		理 学 療 法 学 専 攻	20	15	—	5	若干名	—	
		作 業 療 法 学 専 攻	20	15	—	5	若干名	—	
		小 計	200	143	20	37	—	—	
計	387	298	20	64	—	5			
合 計	1,726	1,314	235	172	—	5			

- (注) 1. 前期日程の募集人員には、帰国子女入試の募集人員を含みます。
 2. 推薦入試、帰国子女入試及びAO入試の合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。
 3. 法学類L方式の個別学力検査の実施教科は、国語と外国語となります。
 4. 法学類M方式の個別学力検査の実施教科は、数学と外国語となります。
 5. 薬学類(6年制)・創薬科学類(4年制)の選抜は一括して実施します。各学類への所属は、3年次後期からとなります。

3. 入学者選抜

本学における一般入試は、分離・分割方式（前期日程・後期日程）で行います。

ただし、人間社会学域学校教育学類、医薬保健学域医学類、医薬保健学域薬学類・創薬科学類、医薬保健学域保健学類理学療法専攻及び作業療法学専攻は前期日程のみです。

4. 出願資格

次のいずれかに該当し、平成26年度大学入学者選抜大学入試センター試験において、志望する学域学類等が課すすべての教科・科目（前期日程は24～31ページ「1. 入学者選抜方法等」の「(4) 実施教科・科目等」、後期日程は36～41ページ「1. 入学者選抜方法等」の「(3) 実施教科・科目等」）を受験した者*

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成26年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成26年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成26年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (4) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成26年3月31日までに18歳に達するもの

上記(4)により出願する場合は、出願に先立ち「金沢大学入学資格審査申請要領」により入学資格審査を行います。

申請期間 平成26年1月6日（月）～1月21日（火）（必着）

申請先 下記あて郵送にて申請してください。審査結果は、平成26年1月26日（日）までに通知します。

金沢大学学生部入試課入学試験係 〒920-1192 金沢市角間町
 電話 076-264-5169, 5177～5179
 F A X 076-234-4042
 E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

（注）「金沢大学入学資格審査申請要領」は、本学ホームページを参照してください。

金沢大学ホームページ <http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/gakubu/sinsa.html>

※ 大学入試センター試験において、志望する学域学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ、個別学力検査等を受験できません。

〔参考〕学校教育法施行規則第150条

学校教育法第90条第1項の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 1 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 3 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 4 文部科学大臣の指定した者
- 5 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 6 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 7 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものの

5. 出願手続

本学の一般入試（前期日程・後期日程）の志願者は、次の手続により出願してください。

(1) 出願期間

平成26年1月27日（月）～2月5日（水）

出願書類は郵送（書留速達郵便に限る）するものとし、平成26年2月5日(水)までに必着とします。ただし、出願期間後に到着した出願書類のうち、平成26年2月3日(月)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。

◎ 出願状況の情報提供について

学域学類・専攻ごとの出願状況（志願者数及び倍率）について、集計ができ次第、本学ホームページに掲載します。

平成26年1月28日(火)～平成26年3月31日(月)

金沢大学ホームページ <http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/admission/index.html>

(2) 出願方法



志願者は、「(3) 出願に必要な書類等」を一括して、本学所定の封筒（本要項に添付の入学願書提出用封筒（前期日程志願者は前期日程用封筒、後期日程志願者は後期日程用封筒））に入れ、出願期間内に郵送してください。

なお、出身高等学校等で取りまとめて提出する場合も、志願者ごとに本学所定の封筒に入れて郵送してください。

〔出願に当たっての注意事項〕

- ① 前期日程志願者は「前期日程」用の出願用紙・封筒を使用してください。また、後期日程志願者は「後期日程」用の出願用紙・封筒を使用してください。
- ② 大学入試センター試験の成績請求票の再発行を受けた場合は、再発行された成績請求票のみが有効です。この場合は、再発行された成績請求票により出願しなければ出願無資格者となります。
- ③ 他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除きます。）・学部等の前期日程入学手続者は、本学後期日程を受験しても入学許可は得られません。
- ④ 他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除きます。）・学部等の推薦入試、AO入試合格者は、本学を受験しても入学許可は得られません。ただし、推薦入試、AO入試に合格した大学、学部等の定める入学辞退手続により入学辞退し、その許可を得た者を除きます。
- ⑤ 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- ⑥ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び入学検定料の返還には応じません。ただし、出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者又は医薬保健学域医学類前期日程の志願者のうち、第1段階選抜で不合格となった者には、入学検定料の内、一部を返還します。
- ⑦ 出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

(3) 出願に必要な書類等

①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学志願票 ・ 写真票 ・ 入学試験関係書類送付用切手貼付用紙 ・ 出願書類受理確認はがき 	<p>本要項に添付の用紙により作成してください。入学願書提出用封筒に同封しています。</p> <p>前期日程志願者は、「 平成26センター試験成績請求票 前期日程用」を入学志願票の所定欄に貼り付けてください。</p> <p>後期日程志願者は、「 平成26センター試験成績請求票 後期日程用」を入学志願票の所定欄に貼り付けてください。</p> <p>また、写真は写真票の所定欄に貼り付けてください。</p> <p>入学試験関係書類送付用切手貼付用紙と出願書類受理確認はがきに必ず切手を貼ってください。切手のないものは送付できません。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 切手貼付用紙 350円分の切手 ② 確認はがき 50円分の切手 <p>前期日程志願者は記入の際に「平成26年度金沢大学入学志願票記入例（前期日程）」（入学願書提出用封筒（前期日程用）に同封）を参照してください。</p> <p>後期日程志願者は記入の際に「平成26年度金沢大学入学志願票記入例（後期日程）」（入学願書提出用封筒（後期日程用）に同封）を参照してください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学検定料振込金証明書貼付用紙 	<p>入学検定料 17,000円</p> <p><納入方法></p> <p>納入方法は銀行振込となります。本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関（銀行・信用金庫・信用組合・農協・漁協）の窓口から振り込んでください。（ゆうちょ銀行・郵便局からの振込みはできません。）振込手数料は、志願者負担となります。（北陸銀行本支店からの振込みの場合、手数料はかかりません。）振込後、入学検定料振込金証明書に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、本要項に添付の「入学検定料振込金証明書貼付用紙」欄に貼付して提出してください。また、「領収書」は、大切に保管してください。</p>

①	<p>(注) (1) 金融機関の窓口受付終了時刻までに振り込んでください。また、土・日・祝日は休業となりますので、注意してください。</p> <p>(2) ATM (現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。</p> <p>出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。</p> <p>ただし、入学検定料の振込後、出願を取り止めた場合は返還手続を行うことができますので、下記担当まで連絡してください。なお、返還手続の際は「領収書(本人控)」及び「振込金証明書(提出用)」が必要になります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>担当 財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5066</p> </div>
② 調 査 書	<p>1. 高等学校若しくは中等教育学校卒業 (卒業見込み) の者</p> <p>(1) 文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し厳封したもの</p> <p>(2) 指導要録等の保存期間が経過した者、又は廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、次によってください。</p> <p>①卒業後5年を経過した場合 「指導に関する記録」の記入がない調査書で代えることができます。</p> <p>②卒業後20年を経過した場合 卒業証明書, 成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもって代えることができます。</p> <p>③廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合 卒業証明書, 成績通信簿その他志願者が提出できる書類を、また、これらの書類等を提出できない場合は、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書を提出してください。</p> <p>2. その他の者</p> <p>(1) 高等学校卒業程度認定試験 (大学入学資格検定試験含む。) の合格者は、合格成績証明書をもって調査書に代えてください。なお、高等学校等において科目を修得したことにより、高等学校卒業程度認定の受験科目 (大学入学資格検定の受験科目含む。) を一部免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の成績証明書又は調査書 (出身学校長が作成し、厳封したもの) を併せて提出してください。</p> <p>(2) 高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者は、出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものを調査書に代えてください。</p> <p>(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、フランス共和国のバカロレア資格取得者は、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えてください。</p> <p>(4) 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了者は、成績証明書をもって調査書に代えてください。</p> <p>(5) 本学の個別の入学資格審査を受けて認定された者は、「金沢大学入学資格認定書」の写しを提出してください。</p> <p>3. 留意点 調査書の氏名と現在の氏名が相違している場合、改姓、改名した旨を記した書面 (様式随意) を提出してください。</p>

(4) 出願書類等の提出先

出願書類は、本学所定の封筒 (本要項に添付の入学願書提出用封筒) により郵送してください。
 なお、出身高等学校等で取りまとめて提出する場合にも下記に郵送してください。

あ て 先	住 所
金沢大学学生部入試課	〒920-8799 日本郵便株式会社金沢中央郵便局留

(5) 大学入試センター試験受験教科・科目 自己確認表

提出不要

①前期日程

大学入試センター試験で志望する学域学類・専攻が課すすべての教科・科目を受験しているか、各自で必ずチェックして出願してください。なお、この表は提出する必要はありません。

志望する学域・学類・専攻		志望する学域・学類・専攻が課す教科・科目		受験した科目	
		教科	科目名		
前 期 日 程	人間社会学域 人文学類 法学類 経済学類 国際学類	国語	『国語』	<input type="checkbox"/>	
		地理歴史	『世界史 B』 『日本史 B』 『地理 B』	から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			公民		『倫理, 政治・経済』
		数 学	『数学 I・数学 A』	から1	<input type="checkbox"/>
			※『数学 II・数学 B』 ※『工業数理基礎』 ※『簿記・会計』 ※『情報関係基礎』		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		理 科	『理科総合 A』 『理科総合 B』 『物理 I』 『化学 I』 『生物 I』 『地学 I』	から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	から1
	計	[5教科7科目]又は[6教科7科目]		<input type="checkbox"/> 計 科目	
	学 校 教 育 学 域 地 域 創 造 学 域	国語	『国語』	<input type="checkbox"/>	
		地理歴史	『世界史 B』 『日本史 B』 『地理 B』	から1又は2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			公民		『倫理, 政治・経済』
		理 科	『理科総合 A』 『理科総合 B』 『物理 I』 『化学 I』 『生物 I』 『地学 I』	から1又は2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			数 学	『数学 I・数学 A』 『数学 II・数学 B』 ※『工業数理基礎』 ※『簿記・会計』 ※『情報関係基礎』	から1
		外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
計		[5教科7科目]又は[6教科7科目]		<input type="checkbox"/> 計 科目	

(注)「数学」のうち※の『工業数理基礎』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

人間社会学域人文学類、法学類、経済学類、国際学類において「理科」の受験科目を2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。(「理科」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。)

人間社会学域学校教育学類、地域創造学類において『「地理歴史」「公民」から2科目、「理科」から2科目の合計4科目を受験している場合は、『「地理歴史」「公民」の第1解答科目、「理科」の第1解答科目を採用し、加えて『「地理歴史」「公民」の第2解答科目と「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の成績を採用します。なお、『「地理歴史」「公民」の第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格となります。]

提出不要

大学入試センター試験で志望する学域学類・専攻が課すすべての教科・科目を受験しているか、各自で必ずチェックして出願してください。なお、この表は提出する必要はありません。

共通

志望する学域・学類・専攻		志望する学域・学類・専攻が課す教科・科目		受験した科目	
		教科	科目名		
前期	理工学域 物質化学類 機械工学類 環境デザイン学類	国語	『国語』	<input type="checkbox"/>	
		地理歴史	『世界史 B』 『日本史 B』 『地理 B』	から 1	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>
		公民	『倫理, 政治・経済』	<input type="checkbox"/>	
		数学	『数学 I・数学 A』 『数学 II・数学 B』 ※『工業数理基礎』 ※『簿記・会計』 ※『情報関係基礎』	から 1	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>				
	理科	『物理 I』	<input type="checkbox"/>		
		『化学 I』	<input type="checkbox"/>		
	外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	から 1	<input type="checkbox"/>	
	計	〔5教科7科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目	
	後期	数物科学類 自然システム学類	国語	『国語』	<input type="checkbox"/>
			地理歴史	『世界史 B』 『日本史 B』 『地理 B』	から 1
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
公民			『倫理, 政治・経済』	<input type="checkbox"/>	
数学			『数学 I・数学 A』 『数学 II・数学 B』 ※『工業数理基礎』 ※『簿記・会計』 ※『情報関係基礎』	から 1	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>				
理科	『物理 I』 『化学 I』 『生物 I』 『地学 I』	から 2	<input type="checkbox"/>		
			<input type="checkbox"/>		
			<input type="checkbox"/>		
外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	から 1	<input type="checkbox"/>		
計	〔5教科7科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目		

(注) 「数学」のうち※の『工業数理基礎』, 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限りません。

理工学域において『「地理歴史」「公民」』の受験科目を2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。なお、第1解答科目が指定した科目以外の場合は**失格**となります。

(『「地理歴史」「公民」』の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。)

提出不要

大学入試センター試験で志望する学域学類・専攻が課すすべての教科・科目を受験しているか、各自で必ずチェックして出願してください。なお、この表は提出する必要はありません。

志望する学域・学類・専攻		志望する学域・学類・専攻が課す教科・科目		受験した科目	
		教科	科目名		
前 期 日 程	理工学域 電子情報学類	国語	『国語』	<input type="checkbox"/>	
		地理歴史	『世界史 B』 『日本史 B』 『地理 B』	から 1	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>
		公民	『倫理, 政治・経済』	<input type="checkbox"/>	
		数 学	『数学 I・数学 A』	<input type="checkbox"/>	
			『数学 II・数学 B』 ※『工業数理基礎』 ※『簿記・会計』 ※『情報関係基礎』	から 1	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>
理 科	『物理 I』 『化学 I』 『生物 I』	から 2	<input type="checkbox"/>		
外 国 語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	から 1	<input type="checkbox"/>		
			<input type="checkbox"/>		
計	〔5教科7科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目		

(注)「数学」のうち※の『工業数理基礎』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

理工学域において『地理歴史』『公民』の受験科目を2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。なお、第1解答科目が指定した科目以外の場合は**失格**となります。(『地理歴史』『公民』の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。)

提出不要

大学入試センター試験で志望する学域学類・専攻が課すすべての教科・科目を受験しているか、各自で必ずチェックして出願してください。なお、この表は提出する必要はありません。

共通

志望する学域・学類・専攻		志望する学域・学類・専攻が課す教科・科目		受験した科目	
		教科	科目名		
前 期 日 程	医薬保健学域 医学類 保健学類	国語	『国語』	<input type="checkbox"/>	
		地理歴史	『世界史 B』 『日本史 B』 『地理 B』	から 1	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>
		公民	『倫理, 政治・経済』	<input type="checkbox"/>	
		数 学	『数学Ⅰ・数学 A』 『数学Ⅱ・数学 B』 ※『工業数理基礎』 ※『簿記・会計』 ※『情報関係基礎』	から 1	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>				
	理 科	『物理Ⅰ』 『化学Ⅰ』 『生物Ⅰ』 『地学Ⅰ』	から 2	<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	
	外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	から 1	<input type="checkbox"/>	
	計	〔5教科7科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目	
	薬学類・創薬科学類	国語	『国語』	<input type="checkbox"/>	
		地理歴史	『世界史 B』 『日本史 B』 『地理 B』	から 1	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
公民		『倫理, 政治・経済』	<input type="checkbox"/>		
数 学		『数学Ⅰ・数学 A』 『数学Ⅱ・数学 B』 ※『工業数理基礎』 ※『簿記・会計』 ※『情報関係基礎』	から 1	<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>				
理 科	『物理Ⅰ』 『化学Ⅰ』		<input type="checkbox"/>		
			<input type="checkbox"/>		
外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	から 1	<input type="checkbox"/>		
計	〔5教科7科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目		

(注)「数学」のうち※の『工業数理基礎』,『簿記・会計』,『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

医薬保健学域において『「地理歴史」「公民」』の受験科目を2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。なお、第1解答科目が指定した科目以外の場合は**失格**となります。(『「地理歴史」「公民」』の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。)

②後期日程

提出不要

大学入試センター試験で志望する学域学類・専攻が課すすべての教科・科目を受験しているか、各自で必ずチェックして出願してください。なお、この表は提出する必要はありません。

志望する学域・学類・専攻		志望する学域・学類・専攻が課す教科・科目		受験した科目								
		教科	科目名									
後 期 日 程	人間社会学域 人文学類	国語	『国語』	<input type="checkbox"/>								
		地理歴史	『世界史 B』 『日本史 B』 『地理 B』	から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>							
						公民	『倫理, 政治・経済』	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
		数 学	『数学 I・数学 A』 『数学 II・数学 B』 ※『工業数理基礎』 ※『簿記・会計』 ※『情報関係基礎』	から1	から1				<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック		
						理 科	『理科総合 A』 『理科総合 B』 『物理 I』 『化学 I』 『生物 I』 『地学 I』	から1			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
												外国語
		計	[3教科3科目]	<input type="checkbox"/> 計 科目								
	法学類 経済学類 国際学類	国語	『国語』	<input type="checkbox"/>								
		地理歴史	『世界史 B』 『日本史 B』 『地理 B』	から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	2つ チェック						
							公民	『倫理, 政治・経済』	<input type="checkbox"/>			
		数 学	『数学 I・数学 A』 『数学 II・数学 B』 ※『工業数理基礎』 ※『簿記・会計』 ※『情報関係基礎』	から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック						
							理 科	『理科総合 A』 『理科総合 B』 『物理 I』 『化学 I』 『生物 I』 『地学 I』	から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック (第1解答科目と して受験すること)	
												外国語
		計	[5教科7科目]又は[6教科7科目]	<input type="checkbox"/> 計 科目								

(注)「数学」のうち※の『工業数理基礎』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

人間社会学域人文学類において『「地理歴史」「公民」』の受験科目を2科目受験している場合及び人間社会学域人文学類、法学類、経済学類、国際学類において「理科」の受験科目を2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。なお、人間社会学域人文学類において『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目が指定した科目以外の場合は、『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目の成績は採用せず、指定した教科・科目の範囲で高得点の順に他教科の成績(理科については第1解答科目の成績)を採用します。(『「地理歴史」「公民」』及び「理科」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。)

提出不要

大学入試センター試験で志望する学域学類・専攻が課すすべての教科・科目を受験しているか、各自で必ずチェックして出願してください。なお、この表は提出する必要はありません。

共
通

志望する学域・学類・専攻		志望する学域・学類・専攻が課す教科・科目		受験した科目		
		教科	科目名			
後 期	人間社会学域 地域創造学類	国語	『国語』	<input type="checkbox"/>		
		地理歴史	『世界史 B』 『日本史 B』 『地理 B』	から1	<input type="checkbox"/>	
			『倫理, 政治・経済』		<input type="checkbox"/>	
		数 学	『数学 I・数学 A』 『数学 II・数学 B』 ※『工業数理基礎』 ※『簿記・会計』 ※『情報関係基礎』	から1	<input type="checkbox"/>	
			理 科	『理科総合 A』 『理科総合 B』 『物理 I』 『化学 I』 『生物 I』 『地学 I』	から1	<input type="checkbox"/>
				外 国 語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	から1
		計			[2 教科 2 科目]	<input type="checkbox"/> 計 科目
		から2			2つ チェック	
日 程	理工学域 数物科学類	国語	『国語』	<input type="checkbox"/>		
		地理歴史	『世界史 B』 『日本史 B』 『地理 B』	から 1	<input type="checkbox"/>	
			『倫理, 政治・経済』		<input type="checkbox"/>	
		数 学	『数学 I・数学 A』 『数学 II・数学 B』 ※『工業数理基礎』 ※『簿記・会計』 ※『情報関係基礎』	から 1	<input type="checkbox"/>	
			理 科	『物理 I』 『化学 I』 『生物 I』 『地学 I』	から 2	<input type="checkbox"/>
				外 国 語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	から 1
		計			[5 教科 7 科目]	<input type="checkbox"/> 計 科目
		から 1			1つ チェック (第1解答科目と して受験すること)	
		から 1	1つ チェック			
		から 2	2つ チェック			
		から 1	1つ チェック			

(注)「数学」のうち※の『工業数理基礎』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

人間社会学域地域創造学類、理工学域数物科学類において『地理歴史』『公民』の受験科目を2科目受験している場合及び人間社会学域地域創造学類において「理科」の受験科目を2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。なお、理工学域数物科学類において『地理歴史』『公民』の第1解答科目が指定した科目以外の場合は**失格**となりますが、人間社会学域地域創造学類において『地理歴史』『公民』の第1解答科目が指定した科目以外の場合は、『地理歴史』『公民』の第2解答科目の成績は採用せず、指定した教科・科目の範囲で高得点の順に他教科の成績(理科については第1解答科目の成績)を採用します。(『地理歴史』『公民』及び「理科」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。)

提出不要

大学入試センター試験で志望する学域学類・専攻が課すすべての教科・科目を受験しているか、各自で必ずチェックして出願してください。なお、この表は提出する必要はありません。

志望する学域・学類・専攻		志望する学域・学類・専攻が課す教科・科目		受験した科目		
		教科	科目名			
後 期 日 程	理工学域 物質化学類 環境デザイン学類	国 語	『国語』	<input type="checkbox"/>		
		地 理 歴 史	『世界史 B』 『日本史 B』 『地理 B』	から 1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック (第1解答科目と して受験すること)
			公 民			
		数 学	『数学 I・数学 A』		<input type="checkbox"/>	
			※『数学 II・数学 B』 ※『工業数理基礎』 ※『簿記・会計』 ※『情報関係基礎』	から 1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック
			理 科	『物理 I』 『化学 I』	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		外 国 語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	から 1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック
			計	[5 教科 7 科目]	<input type="checkbox"/> 計 科目	
	機 械 工 学 類	外 国 語	『英語』	<input type="checkbox"/>		
		計	[1 教科 1 科目]	<input type="checkbox"/> 計 科目		
	電 子 情 報 学 類	数 学	『数学 I・数学 A』	<input type="checkbox"/>		
			※『数学 II・数学 B』 ※『工業数理基礎』 ※『簿記・会計』 ※『情報関係基礎』	から 1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック
理 科		『物理 I』	<input type="checkbox"/>	(第1解答科目と して解答すること)		
外 国 語		『英語』	<input type="checkbox"/>			
計		[3 教科 4 科目]	<input type="checkbox"/> 計 科目			
自 然 シ ス テ ム 学 類	数 学	『数学 I・数学 A』	<input type="checkbox"/>			
		※『数学 II・数学 B』 ※『工業数理基礎』 ※『簿記・会計』 ※『情報関係基礎』	から 1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック	
		理 科	『物理 I』 『化学 I』 『生物 I』 『地学 I』	から 2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	2つ チェック
	外 国 語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	から 1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック	
	計	[3 教科 5 科目]	<input type="checkbox"/> 計 科目			

(注)「数学」のうち※の『工業数理基礎』,『簿記・会計』,『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

理工学域物質化学類, 環境デザイン学類において『「地理歴史」「公民」』の受験科目を2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。なお、理工学域物質化学類, 環境デザイン学類において『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目が指定した科目以外の場合は**失格**となります。(『「地理歴史」「公民」』の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。)

理工学域電子情報学類において「理科」の受験科目を2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。なお、第1解答科目が指定した科目「物理 I」以外の場合は**失格**となります。

提出不要

大学入試センター試験で志望する学域学類・専攻が課すすべての教科・科目を受験しているか、各自で必ずチェックして出願してください。なお、この表は提出する必要はありません。

共通

志望する学域・学類・専攻		志望する学域・学類・専攻が課す教科・科目		受験した科目	
		教科	科目名		
後 期 日 程	医薬保健学域 保健学類 看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻	国語	『国語』	<input type="checkbox"/>	
		地理歴史	『世界史 B』 『日本史 B』 『地理 B』	から 1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1つ チェック (第1解答科目として受験すること)
			公民		
		数 学	『数学 I・数学 A』		<input type="checkbox"/>
			※『工業数理基礎』 ※『簿記・会計』 ※『情報関係基礎』	から 1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1つ チェック
		外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	から 1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1つ チェック
計	〔5教科7科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目		

(注)「数学」のうち※の『工業数理基礎』,『簿記・会計』,『情報関係基礎』を選択できる者は,高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

医薬保健学域保健学類において『「地理歴史」「公民」』の受験科目を2科目受験している場合は,受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。なお,第1解答科目が指定した科目以外の場合は**失格**となります。(『「地理歴史」「公民」』の試験時間において2科目を選択する場合,解答順に前半に受験した科目を第1解答科目,後半に受験した科目を第2解答科目とします。)

6. 障がいのある者等の出願

本学に入学を志願する者で、障がい等があり、受験及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本学に事前相談書等を提出し、相談してください。

なお、体幹及び両上下肢の機能障がいが著しく、本学の個別学力検査において、「代筆解答」を必要とする者は、下記の期限にかかわらずできるだけ早い時期に本学へ相談してください。

(1) **相談締切日** 平成26年1月22日(水)(なお、相談締切日を過ぎてからの相談の場合でも対応はいたしますが、必ずしも要望に沿うことができないこともあります。)

(2) 提出書類

① 事前相談書(次の事項及び連絡先について記載したもの。様式は問いません。)

ア 志望学域学類等

イ 障がいの種類・程度

ウ 受験及び修学について配慮を希望する事項

エ 高等学校若しくは中等教育学校等でとられていた配慮

オ 日常生活の状況

カ その他参考となる事項

② 医師の診断書(上記イ、ウ、オに関する項目も記載してください。)

③ 大学入試センター試験の受験特別措置決定通知書の写し(大学入試センター試験で特別措置を認められた者のみ)

④ その他参考書類(障害者手帳の写し等)

(3) 相談先

金沢大学学生部入試課入学試験係

〒920-1192 金沢市角間町

電 話 076-264-5169, 5177~5179

F A X 076-234-4042

E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

7. 受験票の送付

(1) 「受験票」は、2月13日(木)頃に志願者あてに発送します。なお、2月19日(水)までに到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には、学生部入試課入学試験係へ連絡してください。

連絡先 076-264-5169, 5177~5179

2段階選抜を実施する医薬保健学域医学類前期日程の志願者は23ページ「前期日程 1. 入学者選抜方法等 (3) 2段階選抜の実施」を参照してください。

(2) 「受験票」及び「大学入試センター試験受験票」は、個別学力検査等受験、入学手続及び入試情報開示請求の際に必要なものなので、大切に保管してください。

8. 個人情報の保護

金沢大学では、「国立大学法人金沢大学個人情報管理規程」等を制定し、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出いただく書類に記載されている全ての個人情報は、次の業務で利用します。

(1) 入学者選抜及び入学手続に関わる業務

(2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務

(3) 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務

(4) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務

(5) 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務

(6) 卒業(修了)生に対する学習成果等調査(アウトカムズ・アセスメント)、同窓会活動への支援等に関する業務

(7) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

なお、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、合否等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

9. 問い合わせ先

電話での問い合わせは、平日（月曜日～金曜日）午前9時から午後5時までに行ってください。

本入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。

(1) 入学試験関係

入学試験に関する問い合わせは、下記へ行ってください。

学生部入試課入学試験係 〒920-1192 金沢市角間町
 電話 076-264-5169, 5177～5179 F A X 076-234-4042
 E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

(2) 修学関係

入学後の授業あるいは学生生活に関する問い合わせは、下記へ行ってください。

志望学域・学類等		問 い 合 わ せ 先	
人間社会学域	人文学類	人間社会系事務部学生課 人文・国際学務係	電話 076-264-5601
	法学類	人間社会系事務部学生課 法・経済学務係	電話 076-264-5456, 5457
	経済学類		〒920-1192 金沢市角間町
	学校教育学類	電話 076-264-5603	
	地域創造学類	人間社会系事務部学生課 教育・地域学務係	
国際学類	人間社会系事務部学生課 人文・国際学務係	電話 076-264-5455	
理工学域	数物科学類	理工系事務部 学生課	〒920-1192 金沢市角間町
	物質化学類		
	機械工学類		
	電子情報学類		
	環境デザイン学類		
	自然システム学類		
医薬保健学域	医学類	医薬保健系事務部 医学学生課	〒920-8640 金沢市宝町13番1号 電話 076-265-2125～2127
	薬学類・創薬科学類	医薬保健系事務部薬学・ がん研支援課薬学学務係	〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-234-6827, 6828
	保健学類	医薬保健系事務部 医学学生課保健学務係	〒920-0942 金沢市小立野5丁目11番80号 電話 076-265-2514～2517

10. 入試情報の提供

入学者選抜試験に関する情報を本学ホームページで提供します。

金沢大学ホームページ <http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/admission/index.html>

期	間	内 容
平成25年11月上旬	～	学生募集要項の内容、請求方法の案内
平成26年1月28日(火)	～ 平成26年3月31日(月)	出願状況（学域学類等ごとの志願者数及び倍率）
平成26年2月12日(水) 午後4時頃	～ 平成26年2月18日(火)	医薬保健学域医学類前期日程 2段階選抜実施状況等
平成26年3月8日(土) 午後2時頃	～ 平成26年3月31日(月)	前期日程合格者発表（受験番号のみ）
平成26年3月22日(土) 午前10時頃	～ 平成26年3月31日(月)	後期日程合格者発表（受験番号のみ）

期 間	内 容
平成26年4月7日(月) ～ 平成27年3月31日(火)	志願者, 受験者, 合格者, 追加合格者及び入学者数
	合格者の最高・最低点及び平均点* 大学入試センター試験, 個別学力検査等の各合格点及び総合点について掲載
	正解・解答例(前期日程のみ) 各科目の正解・解答例を掲載 ただし, 数学は, 出題意図・採点の観点等について掲載

※募集人員又は合格者が10人未満の学域学類・専攻については, 開示しません。

金沢大学携帯電話サイト

資料請求方法などの各種入試情報を携帯電話で閲覧できます。以下のバーコードにアクセスしてください。



<http://daigakuic.jp/kanazawa-u/>

11. 入学試験の個人成績の開示

受験者本人からの開示請求を受け, 本人の平成26年度一般入試の個人成績を, **不合格者に限り**, 郵送により開示します。

(1) 開示請求受付期間

平成26年4月4日(金)～5月30日(金)(郵送必着)

請求書類の提出は**郵送のみ**とし, 期限必着とします。

(2) 請求方法

① まず, 「金沢大学入試情報開示請求書」を入手してください。

「開示請求書」は, 本学ホームページの入試情報から印刷できます。

金沢大学ホームページ <http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/admission/index.html>

印刷できない場合は, 受験者本人の郵便番号, 住所, 氏名を明記し, 80円分の切手を貼った返信用封筒(A4用紙が三つ折りに入る大きさの長形3号封筒(120×235mm))を送付してください。この際, 本学へ送付する封筒の表に「入試情報開示請求書請求」と朱書きしてください。折り返し, 「金沢大学入試情報開示請求書」を郵送します。

送付先 〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部入試課指導管理係

② 「金沢大学入試情報開示請求書」に必要事項をすべて記入し, 次の書類等を同封の上, 郵送してください。

○ 平成26年度金沢大学受験票(コピー不可)

万一, 紛失された場合は, 下記(5)の連絡先にお問い合わせください。

○ 返信用封筒* (長形3号, 120mm×235mm)

受験者本人の郵便番号, 住所, 氏名を明記し, 380円分の切手(簡易書留料金)を貼ったもの。開示内容は, この封筒で送付します。

※返信用封筒が指定した大きさと異なる場合, 料金不足で送付できないことがありますので注意してください。

開示請求書送付先 〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部入試課指導管理係

(3) 開示内容

○ 本学が利用した大学入試センター試験の科目ごとの得点及び合計点

○ 個別学力検査等の科目ごとの得点及び合計点

合格者成績情報(最高点, 最低点, 平均点)は, 本学ホームページで閲覧できます。

金沢大学ホームページ <http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/admission/index.html>

(4) 開示の時期・方法

開示請求受付後, 1ヶ月程度の間, 請求者から届いた返信用封筒を使用し簡易書留で郵送します。送付された金沢大学受験票も同封します。

(5) その他

不明な点は本学ホームページの「入試情報」をご覧ください。又は直接お問い合わせください。

金沢大学「入試情報」

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/admission/index.html>

金沢大学学生部入試課指導管理係

電話 076-264-5173, 6192

1. 入学者選抜方法等

前期日程の個別学力検査等は、次のとおり実施します。

(1) 入学者選抜方法

入学者選抜は、大学入試センター試験並びに本学が行う個別学力検査等及び調査書の審査の結果を総合して行います。

一般入試は、配点比率を示した大学入試センター試験と個別学力検査等の結果を総合して合否判定を行うのが基本であり、調査書は履修状況・学業成績等を確認するための資料ないし面接試験の参考資料として用います。

- ① 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等、個別学力検査等の詳細については、「(3) 2段階選抜の実施」から「(8) 試験場」までの各項をそれぞれ参照してください。
- ② 大学入試センター試験で、志望する学域学類等が課すすべての教科・科目等（外国語について英語を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。また、個別学力検査等で、志望する学域学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。

なお、個別学力検査の「採点・評価基準」（論述・記述問題）を32ページに掲載していますので参照してください。

(2) 併願

- ① 志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部（学域学類）等から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部（学域学類）等から1つ、合計2つの大学・学部（学域学類）等に出願することができます。

したがって、「前期—後期」の併願は認められますが、「前期—前期」、「後期—後期」の併願は認められませんので注意してください。

- ② 本学の「前期日程」の学域学類と「後期日程」の学域学類は、併願することができます。

(3) 2段階選抜の実施

医薬保健学域医学類において志願者数が募集人員に対する予告倍率（4倍程度）を超えた場合には、大学入試センター試験の教科・科目の配点による成績の総得点により第1段階選抜を行うことがあります。その場合は、第1段階選抜合格者についてのみ第2段階選抜を実施します。

① 受験票の発送

受験票は、平成26年2月8日（土）頃に本人あて発送します。

なお、平成26年2月12日（水）午後4時を過ぎても到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には、学生部入試課入学試験係へ連絡してください。

連絡先：076-264-5169, 5177~5179

② 第1段階選抜合格者発表

第1段階選抜を実施した場合は、第1段階選抜合格者の受験番号を医学類掲示場及び本学ホームページにより発表するとともに、志願者全員に**第1段階選抜結果通知書**を送付します。

第1段階選抜を実施しなかった場合は、実施しなかった旨を医学類掲示場及び本学ホームページにより発表するとともに、志願者全員に**実施しなかった旨の通知書**を送付します。

発表日時：平成26年2月12日（水）午後4時（予定）

発表場所：医薬保健学域医学類掲示場（宝町キャンパス医学類F練1階掲示場（正面玄関入って右手））

金沢大学ホームページ <http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/admission/index.html>

本学ホームページへの掲載期間は、平成26年2月12日（水）午後4時頃から平成26年2月18日（火）までです。

（注）1. 電話等による合否の問い合わせには応じません。

2. 入学検定料について、第1段階選抜で不合格となった者には、13,000円を返還します。該当する者には、第1段階選抜結果通知の際に入学検定料一部返還請求書を送付しますので、平成26年2月28日（金）までに申し出てください。

上記の「第1段階選抜結果通知書」又は「実施しなかった旨の通知書」のいずれか平成26年2月18日（火）までに到着しない場合には、学生部入試課入学試験係へ連絡してください。

連絡先：076-264-5169, 5177~5179

(4) 実施教科・科目等

学域・学類等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	
人間社会学域	人文学類	国語	「国語」	国語 外国語	国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・国語総合 英語Ⅱ・リーディング・ライティング、ドイツ語、フランス語、中国語	
		地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」			から2
		公民	「倫理, 政治・経済」			から1
		数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」			
		理科	「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」			から1
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	から1				
			[5教科7科目] 又は [6教科7科目]			
	法学類	L方式	国語	「国語」	国語 外国語	国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・国語総合 英語Ⅱ・リーディング・ライティング、ドイツ語、フランス語、中国語
			地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」		
	M方式	公民	「倫理, 政治・経済」	から1		
数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	から1				
			理科	「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	から1	
	経済学類	外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	から1	国語 数学 外国語	国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 英語Ⅱ・リーディング・ライティング、ドイツ語
			[5教科7科目] 又は [6教科7科目]			
	学校教育学類	国語	「国語」	国語 数学 理科 外国語	国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 物理Ⅰ・物理Ⅱ、 化学Ⅰ・化学Ⅱ、 生物Ⅰ・生物Ⅱ、 地学Ⅰ・地学Ⅱ 英語Ⅱ・リーディング・ライティング	
		地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」			から1 又は2
		公民	「倫理, 政治・経済」			から1
		理科	「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」			
		数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」			から1
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	から1				
			[5教科7科目] 又は [6教科7科目]			
	地域創造学類	国語	「国語」	国語 数学 外国語	国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 英語Ⅱ・リーディング・ライティング、ドイツ語	
		地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」			から1 又は2
		公民	「倫理, 政治・経済」			から1
		理科	「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」			
		数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」			から1
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	から1				
			[5教科7科目] 又は [6教科7科目]			

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他
試験の区分	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接	配点計	
センター試験	200	※300(150×2)		100	200	200			1000	<p>◎ 大学入試センター試験で、志望する学域学類等が課すすべての教科・科目等（「外国語」について「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。</p> <p>また、個別学力検査等で、志望する学域学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。</p>
個別学力検査	300					300			600	
計	500	300		100	200	500			1600	
センター試験	200	※200(100×2)		100	200	200			900	
個別学力検査	300					300			600	
計	500	200		100	200	500			1500	
センター試験	200	※200(100×2)		100	200	200			900	
個別学力検査					300	300			600	
計	200	200		100	500	500			1500	
センター試験	200	※200(100×2)		100	200	200			900	
個別学力検査	200				200	200			600	
計	400	200		100	400	400			1500	
センター試験	200	※300(100×3)			200	200			900	
個別学力検査	※300			※300	※300	300			600	
計	国語 選択(個別)	500	300		200	500			1500	
	理科選択(個別)	200	600		200	500				
	数学選択(個別)	200	300		500	500				
センター試験	200	※300(100×3)			200	200			900	
個別学力検査	※200				※200	※200			400	
計	国語 数学 選択(個別)	400	300		400	200			1300	
	国語 外国語 選択(個別)	400	300		200	400				
	数学 外国語 選択(個別)	200	300		400	400				

学域・学類等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
人間社会 学 域	国際学類	国語	「国語」	国語 外国語	国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・国語総合 英語Ⅱ・リーディング・ライティング
		地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」 } から2		
		公民	「倫理, 政治・経済」		
		数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, } から1 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」		
		理科	「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」 } から1		
		外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 } から1 [5教科7科目] 又は [6教科7科目]		
理工学域	数物科学類	国語	「国語」	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C 物理Ⅰ・物理Ⅱ, } から1 化学Ⅰ・化学Ⅱ 英語Ⅱ・リーディング・ライティング
		地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」 } から1		
		公民	「倫理, 政治・経済」		
		数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, } から1 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」		
		理科	「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」 から2		
		外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 } から1 [5教科7科目]		
	物質化学類	国語	「国語」	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C 化学Ⅰ・化学Ⅱ 英語Ⅱ・リーディング・ライティング
	地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」 } から1			
		公民	「倫理, 政治・経済」		
		数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, } から1 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」		
	機械工学類	理科	「物理Ⅰ」と「化学Ⅰ」	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C 物理Ⅰ・物理Ⅱ 英語Ⅱ・リーディング・ライティング
		外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 } から1 [5教科7科目]		
	電子情報学類	国語	「国語」	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C 物理Ⅰ・物理Ⅱ 英語Ⅱ・リーディング・ライティング
		地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」 } から1		
		公民	「倫理, 政治・経済」		
		数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, } から1 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」		
		理科	「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」から2		
		外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 } から1 [5教科7科目]		
	環境デザイン学類	国語	「国語」	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C 物理Ⅰ・物理Ⅱ, } から1 化学Ⅰ・化学Ⅱ 英語Ⅱ・リーディング・ライティング
		地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」 } から1		
		公民	「倫理, 政治・経済」		
		数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, } から1 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」		
		理科	「物理Ⅰ」と「化学Ⅰ」		
		外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 } から1 [5教科7科目]		

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他
試験の区分	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接	配点計	
センター試験	200	※200(100×2)		100	200	200			900	
個別学力検査	300					300			600	
計	500	200		100	200	500			1500	
センター試験	200	※100(100×1)		200	200	200			900	
個別学力検査				350	450	100			900	
計	200	100		550	650	300			1800	
センター試験	100	※50(50×1)		100	100	100			450	
個別学力検査				200	200	200			600	
計	100	50		300	300	300			1050	
センター試験	100	※50(50×1)		100	100	100			450	◎ 大学入試センター試験で、志望する学域学類等が課すすべての教科・科目等（「外国語」について「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。 また、個別学力検査等で、志望する学域学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。
個別学力検査				200	250	200			650	
計	100	50		300	350	300			1100	
センター試験	100	※50(50×1)		100	100	100			450	
個別学力検査				120	200	120			440	
計	100	50		220	300	220			890	
センター試験	100	※50(50×1)		100	100	100			450	
個別学力検査				200	250	200			650	
計	100	50		300	350	300			1100	

学域・学類等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
理工学域	自然システム学類	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」,「日本史B」,「地理B」 「倫理, 政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」,「工業数理基礎」, 「簿記・会計」,「情報関係基礎」 } から1 「物理Ⅰ」,「化学Ⅰ」,「生物Ⅰ」,「地学Ⅰ」から2 「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」, 「中国語」,「韓国語」 } から1 [5教科7科目]	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C 物理Ⅰ・物理Ⅱ, 化学Ⅰ・化学Ⅱ, 生物Ⅰ・生物Ⅱ, 地学Ⅰ・地学Ⅱ } から1 英語Ⅱ・リーディング・ライティング
	医学類	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」,「日本史B」,「地理B」 「倫理, 政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」,「工業数理基礎」, 「簿記・会計」,「情報関係基礎」 } から1 「物理Ⅰ」,「化学Ⅰ」,「生物Ⅰ」,「地学Ⅰ」から2 「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」, 「中国語」,「韓国語」 } から1 [5教科7科目]	数学 理科 外国語 その他	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C 物理Ⅰ・物理Ⅱと化学Ⅰ・化学Ⅱ 英語Ⅱ・リーディング・ライティング 面接（勉学意欲と資質等を判断するための多面的試問を行います。）
	薬学類・創薬科学類	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」,「日本史B」,「地理B」 「倫理, 政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」,「工業数理基礎」, 「簿記・会計」,「情報関係基礎」 } から1 「物理Ⅰ」と「化学Ⅰ」 「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」, 「中国語」,「韓国語」 } から1 [5教科7科目]	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C 物理Ⅰ・物理Ⅱと化学Ⅰ・化学Ⅱ 英語Ⅱ・リーディング・ライティング

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他
試験の区分	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接	配点計	
センター試験	100	※100(100×1)		200	100	100			600	
個別学力検査				200	200	100			500	
計	100	100		400	300	200			1100	
センター試験	100	※50(50×1)		100	100	100			450	<p>◎ 大学入試センター試験で、志望する学域学類等が課すすべての教科・科目等（「外国語」について「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。</p> <p>また、個別学力検査等で、志望する学域学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。</p>
個別学力検査				200	200	200		100	700	
計	100	50		300	300	300		100	1150	
センター試験	100	※100(100×1)		200	200	200			800	<p>◎ 医学類では志願者数が募集人員に対する予告倍率（4倍程度）を超えた場合には、大学入試センター試験の教科・科目の配点による成績の総得点により第1段階選抜を行うことがあります。その場合は、第1段階選抜合格者についてのみ第2段階選抜を実施します。</p>
個別学力検査				400	200	200			800	
計	100	100		600	400	400			1600	

学域・学類等名			大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
医薬保健学	保健学類	看護学専攻			理科	物理Ⅰ・物理Ⅱ， 化学Ⅰ・化学Ⅱ， 生物Ⅰ・生物Ⅱ } から1 英語Ⅱ・リーディング・ライティング
		放射線技術科学専攻			外国語	
		検査技術科学専攻	国語	「国語」	} から1 } から1 } から2 } から1 [5教科7科目]	
			地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」		
		理学療法学専攻	公民	「倫理, 政治・経済」		
数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」					
作業療法学専攻	理科	「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」から2	外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」		

(注) 1 大学入試センター試験の「数学」のうち「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

2 個別学力検査等について

① 「数学B」, 「数学C」, 「物理Ⅱ」, 「化学Ⅱ」, 「生物Ⅱ」及び「地学Ⅱ」の出題範囲は、次のとおりです。

「数学B」……「数列」, 「ベクトル」

「数学C」……「行列とその応用」, 「式と曲線」

「物理Ⅱ」……学習指導要領に示された内容のうち、選択分野を出題範囲から除き出題します。

「化学Ⅱ」, 「生物Ⅱ」, 「地学Ⅱ」……学習指導要領に示された選択分野によって受験者に対して不利が生じないように出題します。

② 外国語の「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」は、リスニングテストを課します。

3 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

① 配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。

② 大学入試センター試験で、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を採用します。

ただし、『「地理歴史」「公民」』の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合及び「理科」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。また、第1解答科目が指定した科目以外の場合は**失格**となります。

(『「地理歴史」「公民」』及び「理科」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とする。)

③ 人間社会学域学校教育学類、地域創造学類(前期日程)の大学入試センター試験の『「地理歴史」「公民」及び「理科」』の各科目の配点は合計300点とし、『「地理歴史」「公民」』から2科目、「理科」から2科目の合計4科目を受験している場合は、『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目、「理科」の第1解答科目を採用し、加えて『「地理歴史」「公民」』の第

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他
試験の区分	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接	配点計	
センター試験	200	※100(100×1)		200	200	200			900	◎ 大学入試センター試験で、志望する学域学類等が課すすべての教科・科目等（「外国語」について「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。 また、個別学力検査等で、志望する学域学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。
個別学力検査				400		400			800	
計	200	100		600	200	600			1700	
センター試験	200	※100(100×1)		200	200	200			900	
個別学力検査				200		200			400	
計	200	100		400	200	400			1300	
センター試験	200	※100(100×1)		200	200	200			900	
個別学力検査				200		200			400	
計	200	100		400	200	400			1300	
センター試験	200	※100(100×1)		200	200	200			900	
個別学力検査				400		400			800	
計	200	100		600	200	600			1700	
センター試験	200	※100(100×1)		200	200	200			900	
個別学力検査				400		400			800	
計	200	100		600	200	600			1700	

2 解答科目と「理科」の第2 解答科目のうち得点の高い科目の成績を採用します。

- ④ 大学入試センター試験で「数学」2 科目又は「理科」2 科目を課す学域学類等については、2 科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2 分の1 とします。
- ⑤ 医薬保健学域医学類及び薬学類・創薬科学類の個別学力検査の「理科」2 科目については、2 科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2 分の1 とします。
- ⑥ 大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストが含まれており、成績は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点となるように圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用します。
 なお、大学入試センター試験の「英語」のリスニングテストが免除となる重度難聴者については、「英語」の筆記試験の成績（200点満点）を圧縮せずに利用します。

また、入学者選抜の配点にあたっては、学域学類等に示されているセンター試験の外国語の配点に換算します。

(5) 採点・評価基準（個別学力検査）

《論述・記述問題》

教科名	留意している点等
国語	① 設問に対していかに正確に答えているかを評価します。 ② 解答内容をいかに的確に表現しているかを評価します。
数学	① 解法の多様性を考慮し、解答の過程を十分吟味し評価します。 ② 答案の論理構成に整合性があるかどうかを重視します。
物理	物理に対する基本的な理解度を見ます。
化学	化学における基本的な概念や原理・法則に対する理解の深さと化学的な思考力を評価します。
生物	生物における基本的な概念に対する知識や理解及び論理的思考能力を見ます。
地学	地学における基本的な知識や理解並びに論理的思考力を評価します。
英語	英語の文章の内容を理解する能力及び英語で表現する能力を評価します。
ドイツ語	基礎的なレベルの現代ドイツ語の読解力・表現力・聴解力を見ます。
フランス語	基礎的なレベルの現代フランス語の読解力・表現力・聴解力を見ます。
中国語	現代中国語の読解力・聴解力・表現力について、基礎学力及び応用能力を見ます。

(6) 試験期日

平成26年2月25日(火)～26日(水)

26日(水)は、医薬保健学域医学類の面接のみ行います。

(7) 試験時間割

平成26年2月25日(火)

学域・学類		試験時間割		
人間 社会 学域	人文学類	外国語 9:20~10:50	国語 11:40~13:10	数学 14:00~15:30
	法学類			
	L方式			
	M方式			
	経済学類	外国語 9:20~10:50	国語 11:40~13:10	
学校教育学類	外国語 9:20~10:50	理科(選択) 11:40~12:40	数学(選択) 14:00~15:30	
		国語(選択) 11:40~13:10		
地域創造学類	外国語(選択) 9:20~10:50	国語(選択) 11:40~13:10		
国際学類	外国語 9:20~10:50	国語 11:40~13:10		

学 域 ・ 学 類		試 験 時 間 割		
理 工 学 域	数 物 科 学 類	外国語 9：20～10：50	理 科 11：40～13：20	数 学 14：50～16：50
	物 質 化 学 類			
	機 械 工 学 類			
	電 子 情 報 学 類			
	環 境 デ ザ イ ン 学 類			
	自 然 シ ス テ ム 学 類			
医 薬 保 健 学 域	医 学 類	外国語 9：20～10：50	理 科 11：40～13：40	数 学 14：50～16：50
	薬学類・創薬科学類			
	保 健 学 類	理 科 11：40～12：40		

平成26年2月26日(水)

学 域 ・ 学 類	試 験 時 間 割
医 薬 保 健 学 域 医 学 類	面接 9：00～（詳細は、第1段階選抜の実施結果等通知書送付時に通知します。）

(8) 試験場

- ① 試験場は下記の予定です。ただし、志願者数によってキャンパスが変更になることがあります。
 人間社会学域，理工学域，医薬保健学域（薬学類・創薬科学類）：角間キャンパス
 医薬保健学域（医学類）：宝町キャンパス
 医薬保健学域（保健学類）：鶴間キャンパス
- ② 試験場案内等は次のとおり送付します。

学域・学類	発送期日	備 考
医 薬 保 健 学 域 医 学 類	2月12日(水)	・ 第1段階選抜を実施した場合 第1段階選抜の合格者に第1段階選抜結果通知書と併せて「試験場案内」及び「受験上の注意」を送付します。 ・ 第1段階選抜を実施しなかった場合 志願者全員に実施しなかった旨の通知書と併せて「試験場案内」及び「受験上の注意」を送付します。
医 薬 保 健 学 域 医 学 類 以 外	2月13日(木)頃	志願者全員に受験票と併せて「試験場案内」及び「受験上の注意」を送付します。

- ③ 2月24日(月)午後1時以降，キャンパス内に試験場への経路案内及び試験場入口（玄関）に試験室案内等を掲示します。

2. 合格者発表

- (1) 前期日程合格者の受験番号を学内掲示場及び本学ホームページにより発表します。

なお，合格者には合格通知書，入学手続要項を送付します。

発表日時 3月8日(土)午後2時(予定)

発表場所 大学会館前掲示場(角間キャンパス)

金沢大学ホームページ(<http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/admission/index.html>)は午後2時頃の掲載予定

- (2) 電話等による合否の照会には応じません。

3. 入学手続

入学手続期間、手続方法等の概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

(1) 入学手続期間

平成26年3月15日(土)まで(厳守)

(2) 提出書類

- ① 大学入試センター試験受験票
- ② 入学料の振込金証明書
- ③ 学生証作成票

(3) 提出先

金沢大学学生部入試課

(4) 入学料

282,000円(予定)

(注) 上記の納入金額は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合には、改定時から新入学料が適用されます。なお、授業料の納入については、45ページ「4. 授業料の納入」を参照してください。

(5) 入学手続方法

郵送又は持込みとします。郵送の場合は3月14日(金)必着、持込みの場合は3月15日(土)のみ受付します。

(6) 留意事項

- ① 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除きます。)に入学手続を行うことはできません。
- ② 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ③ 他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除きます。)に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできません。
- ④ 「前期日程」に合格し、3月15日(土)までに入学手続を行った者は、「後期日程」を受験してもその合格者とはなりません。
- ⑤ 入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については、「学生生活」の項(44ページ以降)を参照してください。
- ⑥ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

4. 欠員補充の方法

(1) 追加合格

入学手続の結果、欠員が生じた場合は、3月28日(金)以降に「追加合格」を通知することがあります。

追加合格の通知は、志願票の「通知等を受ける場所」へ電話により直接行いますので、不在にする場合も連絡がとれるように手配してください。

なお、合格候補者に対し連絡を開始してから、概ね5時間を経過しても本人と連絡がとれない場合には、次の候補者に連絡をとることがあります。

また、他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除きます。)に入学手続を完了した者は、これを取り消して、本学の入学手続を行うことはできません。

(2) 欠員補充第2次募集

必要ある場合には、欠員補充第2次募集を行います。

欠員補充第2次募集を実施する場合には、決定次第、本学ホームページに掲載するとともに報道機関(特に新聞)を通じて公表します。

金沢大学ホームページ <http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/admission/index.html>

1. 入学者選抜方法等

後期日程の個別学力検査等は、次のとおり実施します。

(1) 入学者選抜方法

入学者選抜は、大学入試センター試験並びに本学が行う個別学力検査等及び調査書の審査の結果を総合して行います。

一般入試は、配点比率を示した大学入試センター試験と個別学力検査等の結果を総合して合否判定を行うのが基本であり、調査書は履修状況・学業成績等を確認するための資料ないし面接試験の参考資料として用います。

- ① 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等、個別学力検査等の詳細については、「(3) 実施教科・科目等」から「(6) 試験場」までの各項をそれぞれ参照してください。
- ② 大学入試センター試験で、志望する学域学類等が課すすべての教科・科目等（外国語について英語を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。また、個別学力検査等で、志望する学域学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。
- ③ 「前期日程」に合格し、3月15日(土)までに入学手続きを行った者は、「後期日程」を受験してもその合格者とはなりません。

(2) 併願

- ① 志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部（学域学類）等から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部（学域学類）等から1つ、合計2つの大学・学部（学域学類）等に出願することができます。
したがって、「前期—後期」の併願は認められますが、「前期—前期」、「後期—後期」の併願は認められませんので注意してください。
- ② 本学の「前期日程」の学域学類と「後期日程」の学域学類は、併願することができます。

(3) 実施教科・科目等

学域・学類等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
人間社会 学 域	人文学類	国語 地理歴史 公民 数学	「国語」 「世界史B」,「日本史B」,「地理B」 } から1 「倫理, 政治・経済」 } 「数学I・数学A」, 「数学II・数学B」,「工業数理基礎」, } から1 「簿記・会計」,「情報関係基礎」から1 理科 「理科総合A」,「理科総合B」,「物理I」, 「化学I」,「生物I」,「地学I」から1 外国語 「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」, 「中国語」,「韓国語」 } から1 [3教科3科目]	その他	小論文(広く人間・社会・歴史・文化・言語に関する課題を示して論述させます。) 【採点・評価基準】 小論文—読解力・資料の理解力・論理的思考力・日本語の表現力などを総合的に評価します。
	法学類	国語 地理歴史 公民 数学	「国語」 「世界史B」,「日本史B」, 「地理B」 } から2 「倫理, 政治・経済」 } 「数学I・数学A」と 「数学II・数学B」,「工業数理基礎」, } から1 「簿記・会計」,「情報関係基礎」 } 理科 「理科総合A」,「理科総合B」,「物理I」, 「化学I」,「生物I」,「地学I」 } から1 外国語 「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」, 「中国語」,「韓国語」 } から1 [5教科7科目] 又は [6教科7科目]	その他	小論文(広く社会・文化に関する課題を示して論述させます。) 【採点・評価基準】 小論文—日本語による資料を提示し, 理解力, 分析力, 論理的思考力, 表現力等を評価します。
	経済学類	理科 外国語	「理科総合A」,「理科総合B」,「物理I」, 「化学I」,「生物I」,「地学I」 } から1 「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」, 「中国語」,「韓国語」 } から1 [5教科7科目] 又は [6教科7科目]	その他	小論文(現代の文化・社会・経済に関する課題について論述させます。英文を出題します。) 【採点・評価基準】 小論文—理解力, 分析力, 論理的思考力, 表現力等を評価します。英語力も併せて評価します。
	地域創造学類	国語 地理歴史 公民 数学	「国語」 「世界史B」,「日本史B」,「地理B」 } から1 「倫理, 政治・経済」 } から2 「数学I・数学A」,「数学II・数学B」, 「工業数理基礎」,「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1 理科 「理科総合A」,「理科総合B」,「物理I」, 「化学I」,「生物I」,「地学I」から1 外国語 「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」, 「中国語」,「韓国語」から1 [2教科2科目]	その他	小論文(広く地域・社会・文化に対する課題を示して論述させます。) 【採点・評価基準】 小論文—論理的思考力・分析力・表現力及び各課題に対する問題意識・知識・関心等を総合的に評価します。
	国際学類	国語 地理歴史 公民 数学	「国語」 「世界史B」,「日本史B」, 「地理B」 } から2 「倫理, 政治・経済」 } 「数学I・数学A」と 「数学II・数学B」,「工業数理基礎」, } から1 「簿記・会計」,「情報関係基礎」 } 理科 「理科総合A」,「理科総合B」,「物理I」, 「化学I」,「生物I」,「地学I」 } から1 外国語 「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」, 「中国語」,「韓国語」 } から1 [5教科7科目] 又は [6教科7科目]	その他	小論文(広く社会・文化に関する課題について論述させます。英文も出題します。) 【採点・評価基準】 小論文—日本語及び英語による資料を提示し, 読解力, 分析力, 論理的思考力及び日本語による表現力等を評価します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他
試験の区分	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接	配点計	
センター試験	100	※100(100×1)				100			300	<p>◎ 大学入試センター試験で、志望する学域学類等が課すすべての教科・科目等（「外国語」について「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。</p> <p>また、個別学力検査等で、志望する学域学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。</p>
個別学力検査						300		300		
計	100	100				100	300		600	
センター試験	200	※200(100×2)		100	200	200			900	
個別学力検査						600		600		
計	200	200		100	200	200	600		1500	
センター試験	200	※200(100×2)		100	200	200			900	
個別学力検査						600		600		
計	200	200		100	200	200	600		1500	
センター試験	※200(100×2)								200	
個別学力検査						400		400		
計	200						400		600	
センター試験	200	※200(100×2)		100	200	200			900	
個別学力検査						600		600		
計	200	200		100	200	200	600		1500	

学域・学類等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
理工学域	数物科学類	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」,「日本史B」,「地理B」 } から1 「倫理, 政治・経済」 } 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」,「工業数理基礎」, } から1 「簿記・会計」,「情報関係基礎」 } 「物理Ⅰ」,「化学Ⅰ」,「生物Ⅰ」,「地学Ⅰ」から2 「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」, } から1 「中国語」,「韓国語」 } [5教科7科目]	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C 物理Ⅰ・物理Ⅱ 【採点・評価基準】 論述—数学：数学に対する基本的な理解度と正解に至るまでの考え方及びそれを表現する力を評価します。 物理：物理に対する基本的な理解度を見ます。
	物質化学類	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」,「日本史B」,「地理B」 } から1 「倫理, 政治・経済」 } 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」,「工業数理基礎」, } から1 「簿記・会計」,「情報関係基礎」 } 「物理Ⅰ」と「化学Ⅰ」 「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」, } から1 「中国語」,「韓国語」 } [5教科7科目]	理科	化学Ⅰ・化学Ⅱ 【採点・評価基準】 論述—化学：化学に対する知識と理解度を見ます。
	機械工学類	外国語	「英語」 [1教科1科目]	数学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C 物理Ⅰ・物理Ⅱ 【採点・評価基準】 論述—数学：数学に対する基本的な理解度と正解に至るまでの考え方及びそれを表現する力を評価します。 物理：物理に対する基本的な理解度を見ます。
	電子情報学類	数学 理科 外国語	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」,「工業数理基礎」, } から1 「簿記・会計」,「情報関係基礎」 } 「物理Ⅰ」 「英語」 [3教科4科目]	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C 【採点・評価基準】 論述—数学：数学に対する基本的な理解度と、正解に至るまでの考え方及びそれを表現する力を評価します。
	環境デザイン学類	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「国語」 「世界史B」,「日本史B」,「地理B」 } から1 「倫理, 政治・経済」 } 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」,「工業数理基礎」, } から1 「簿記・会計」,「情報関係基礎」 } 「物理Ⅰ」と「化学Ⅰ」 「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」, } から1 「中国語」,「韓国語」 } [5教科7科目]	その他	面接（多面的な試問を行い、勉学遂行意欲を評定します。） 【採点・評価基準】 面接—質問の理解と考え方、態度、勉学意欲、適性等を評定し、それらを総合評価します。
	自然システム学類	数学 理科 外国語	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」,「工業数理基礎」, } から1 「簿記・会計」,「情報関係基礎」 } 「物理Ⅰ」,「化学Ⅰ」,「生物Ⅰ」,「地学Ⅰ」から2 「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」, } から1 「中国語」,「韓国語」 } [3教科5科目]	その他	小論文（科学・技術に関することを論述させます。） 【採点・評価基準】 小論文—与えられたテーマについて、自分の考えを論理的に記述しているかを、解答内容の独創性などとともに評価します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										そ の 他
試験の区分	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接	配点計	
センター試験	200	※100(100×1)		200	200	200			900	<p>◎ 大学入試センター試験で、志望する学域学類等が課すすべての教科・科目等（「外国語」について「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。</p> <p>また、個別学力検査等で、志望する学域学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。</p>
個別学力検査				300	300				600	
計	200	100		500	500	200			1500	
センター試験	50	※50(50×1)		100	100	100			400	
個別学力検査				400					400	
計	50	50		500	100	100			800	
センター試験						200			200	
個別学力検査				200	200				400	
計				200	200	200			600	
センター試験				150	100	150			400	
個別学力検査					200				200	
計				150	300	150			600	
センター試験	100	※100(100×1)		100	100	100			500	
個別学力検査								100	100	
計	100	100		100	100	100		100	600	
センター試験				200	200	200			600	
個別学力検査							200		200	
計				200	200	200	200		800	

学域・学類等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
医薬保健 学域	保健学類 看護学専攻 検査技術科学専攻	国語	「国語」 「世界史B」,「日本史B」,「地理B」 「倫理, 政治・経済」 } から1 「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」,「工業数理基礎」, 「簿記・会計」,「情報関係基礎」 } から1	その他	面接（多面的な試問を行い, 勉学意欲 と資質適性を評定します。） 【採点・評価基準】 面接—医療人としての適性, 勉学に対 する意欲, 問題に対する理解力, 自ら の考えをわかりやすくまとめる表現力 等を評定し, それらを総合評価します。
	保健学類 放射線技術科学専攻	理科 外国語			

(注) 1 大学入試センター試験の「数学」のうち「工業数理基礎」,「簿記・会計」,「情報関係基礎」を選択できる者は, 高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

2 個別学力検査等について

「数学B」,「数学C」,「物理Ⅱ」及び「化学Ⅱ」の出題範囲は, 次のとおりです。

「数学B」……「数列」,「ベクトル」

「数学C」……「行列とその応用」,「式と曲線」

「物理Ⅱ」……学習指導要領に示された内容のうち, 選択分野を出題範囲から除き出題します。

「化学Ⅱ」……学習指導要領に示された選択分野によって受験者に対して不利が生じないように出題します。

3 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

① 配点に※印を付してある教科は, 選択教科を表します。

② 大学入試センター試験で, 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は, 指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を採用します。

ただし, 『「地理歴史」「公民」』の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合及び「理科」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合は, それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。(第1解答科目が指定した科目以外の場合は**失格**となります。)なお, 人間社会学域人文学類及び地域創造学類においては, 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目が指定した科目以外の場合, 『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目は採用せず, 指定した教科・科目の範囲で高得点の順に他教科の成績(理科については第1解答科目の成績)を採用します。

(『「地理歴史」「公民」』及び「理科」の試験時間において2科目を選択する場合, 解答順に前半に受験した科目を第1解答科目, 後半に受験した科目を第2解答科目とする。)

③ 大学入試センター試験で「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学域学類等については, 2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。

④ 大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストが含まれており, 成績は, 筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点となるように圧縮し, 他の外国語と比較できるようにして利用します。

なお, 大学入試センター試験の「英語」のリスニングテストが免除となる重度難聴者については, 英語の筆記試験の成績(200点満点)を圧縮せずに利用します。

また, 入学者選抜の配点にあたっては, 学域学類等に示されているセンター試験の「外国語」の配点に換算します。

(4) 試験期日

平成26年3月12日(水)

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他
試験の区分	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	小論文	面接	配点計	
センター試験	200	※100(100×1)		200	200	200			900	◎ 大学入試センター試験で、志望する学域学類等が課すすべての教科・科目等（「外国語」について「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。 また、個別学力検査等で、志望する学域学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。
個別学力検査								200	200	
計	200	100		200	200	200		200	1100	
センター試験	200	※100(100×1)		200	200	200			900	
個別学力検査								400	400	
計	200	100		200	200	200		400	1300	

(5) 試験時間割

学域・学類		試験時間割	
人間社会学域	人文学類	小論文	9:30~12:30
	法学類	小論文	9:30~11:30
	経済学類	小論文	9:30~12:30
	地域創造学類		
	国際学類		
理工学域	数物科学類	数学 理科(物理)	9:30~11:30 12:40~14:20
	物質化学類	理科(化学)	9:30~11:30
	機械工学類	数学 理科(物理)	9:30~11:30 12:40~14:20
	電子情報学類	数学	9:30~11:30
	環境デザイン学類	面接 (詳細は、受験票送付時に通知します。)	9:30~
	自然システム学類	小論文	9:30~11:30
医薬学域 保健学類	保健学類	面接 (詳細は、受験票送付時に通知します。)	9:30~

(6) 試験場

- ① 試験場は下記の予定です。ただし、志願者数によってキャンパスが変更になることがあります。
人間社会学域，理工学域：角間キャンパス
医薬保健学域(保健学類)：鶴間キャンパス
- ② 2月13日(木)頃、志願者全員に受験票と併せて「試験場案内」及び「受験上の注意」を送付します。
- ③ 3月11日(火)午後1時以降、キャンパス内に試験場への経路案内及び試験場入口(玄関)に試験室案内等を掲示します。

2. 合格者発表

- (1) 後期日程合格者の受験番号を学内掲示場及び本学ホームページにより発表します。

なお、合格者には合格通知書、入学手続要項を送付します。

発表日時 3月22日(土)午前10時(予定)

発表場所 大学会館前掲示場(角間キャンパス)

金沢大学ホームページ(<http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/admission/index.html>)は午前10時頃の掲載予定

- (2) 電話等による可否の照会には応じません。

3. 入学手続

入学手続期間、手続方法等の概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

- (1) 入学手続期間

平成26年3月27日(木)まで(厳守)

- (2) 提出書類

- ① 大学入試センター試験受験票
- ② 入学料の振込金証明書
- ③ 学生証作成票

- (3) 提出先

金沢大学学生部入試課

- (4) 入学料

282,000円(予定)

(注) 上記の納入金額は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合には、改定時から新入学料が適用されます。なお、授業料の納入については、45ページ「4. 授業料の納入」を参照してください。

- (5) 入学手続方法

郵送又は持込みとします。郵送の場合は3月26日(水)必着、持込みの場合は3月27日(木)のみ受付します。

- (6) 留意事項

- ① 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学(独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます)に入学手続を行うことはできません。
- ② 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ③ 他の国公立大学(独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます)に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできません。
- ④ 「前期日程」に合格し、3月15日(土)までに入学手続を行った者は、「後期日程」を受験してもその合格者とはなりません。
- ⑤ 入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については、「学生生活」の項(44ページ以降)を参照してください。
- ⑥ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

4. 欠員補充の方法

- (1) 追加合格

入学手続の結果、欠員が生じた場合は、3月28日(金)以降に「追加合格」を通知することがあります。

追加合格の通知は、志願票の「通知等を受ける場所」へ電話により直接行いますので、不在にする場合も連絡がとれるように手配してください。

なお、合格候補者に対し連絡を開始してから、概ね5時間を経過しても本人と連絡がとれない場合には、次の候補者に連絡をとることがあります。

また、他の国公立大学(独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます)に入学手続を完了した者は、これを取り消して、本学の入学手続を行うことはできません。

(2) 欠員補充第2次募集

必要ある場合には、欠員補充第2次募集を行います。

欠員補充第2次募集を実施する場合には、決定次第、本学ホームページに掲載するとともに報道機関（特に新聞）を通じて公表します。

金沢大学ホームページ <http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/admission/index.html>

1. 入学時に必要な経費

(1) 入学料

282,000円（予定）

(注) 上記の金額は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合には、改定時から新入学料が適用されます。

(2) その他必要な経費は、次のとおりです。なお、医薬保健学域薬学類・創薬科学類の入学で3年次後期から薬学類(6年制)に所属となった者は、2年分を改めて納めることになります。

	学生教育研究 災害傷害保険料
人間社会学域（全学類）（4年分） 理工学域（全学類）（4年分） 医薬保健学域（薬学類・創薬科学類、保健学類）（4年分）	3,300円
医薬保健学域（医学類）（6年分）	4,700円

詳細は合格通知書とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

2. 入学料免除

(1) 入学料免除の対象者

- ① 入学前1年以内（平成25年4月から平成26年3月の間）に学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納入が著しく困難である者
- ② 入学前1年以内（平成25年4月から平成26年3月の間）に学資負担者が会社の倒産等やむを得ず失職したことにより、入学料の納入が著しく困難である者
- ③ 東日本大震災により被災した学資負担者の被災時の住所が、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、千葉県のいずれかである者のうち、当該震災により、自宅が全半壊又は学資負担者が死亡等したことにより、入学料の納入が著しく困難である者

上記のいずれかの事由に該当する者で入学料免除を願い出た者に対し、選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

(2) 入学料免除申請書類の請求

- ① 金沢大学のHP（金沢大学学生支援サイト）からダウンロードして使用してください。
<http://ghp.adm.kanazawa-u.ac.jp/archives/4672.html>（平成26年度用申請書類は、平成26年1月上旬に掲載予定です。）
- ② 郵便で請求する場合は、封筒の表に「入学料免除申請書類請求」と朱書きし、申請理由、本人氏名、電話番号、受験学域学类等名、受験番号を記入した書類（様式自由）及び受信者の郵便番号、住所、氏名を記入した返信用封筒（角形2号：24cm×33.2cm）に200円分の切手を貼付を同封し49ページの照会先に送付してください。日数に余裕がない場合は、470円分の切手（速達料金を含む。）を貼付してください。

(3) 入学料免除の申請手続

入学料免除を申請する場合は、申請に必要な各種証明書を不足のないように揃えて入学料免除申請書とともに、下記申請書の提出期間（入学手続期間）中に学生部入試課へ提出してください。

区 分	申請書類の請求	申請書類の提出(入学手続期間)	提出書類
前 期 日 程	平成26年1月 6日(月)から	平成26年3月15日(土)まで	・入学料免除申請書 ・申請書に添付されている説明書 に記載してある各種証明書
後 期 日 程		平成26年3月27日(木)まで	

(4) 注意事項

- ① 入学料免除の申請者には、選考結果の通知があるまで入学料の納入を猶予しますが、結果通知前に納入された場合は免除申請を辞退したものと取り扱います。
- ② 選考の結果、半額免除又は不許可になった者が、告知された日から14日以内に入学料を納入しない場合は、除籍となるので注意してください。
なお、半額免除又は不許可になった場合には、入学料徴収猶予を申請することができます。

3. 入学料徴収猶予

(1) 入学料徴収猶予の対象者

- ① 経済的理由によって納入期限までに入学料の納入が困難であり、かつ、学業成績が優秀である者
 - ② 入学前1年以内（平成25年4月から平成26年3月の間）に、学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、納入期限までに納入が困難である者
- ①又は②の事由に該当する者で、入学料徴収猶予を願い出た者に対し、選考の上、入学料の徴収を猶予することがあります。

(2) 入学料徴収猶予申請書類の請求

- ① 金沢大学のHP（金沢大学学生支援サイト）からダウンロードして使用してください。
<http://ghp.adm.kanazawa-u.ac.jp/archives/4672.html>（平成26年度用申請書類は、平成26年1月上旬に掲載予定です。）
- ② 郵便で請求する場合は、封筒の表に「入学料徴収猶予申請書類請求」と朱書きし、申請理由、本人氏名、電話番号、受験学域学類等名、受験番号を記入した書類（様式自由）及び受信者の郵便番号、住所、氏名を記入した返信用封筒（角形2号：24cm×33.2cmに200円分の切手を貼付）を同封し49ページの照会先に送付してください。日数に余裕がない場合は470円分の切手（速達料金を含む。）を貼付してください。

(3) 入学料徴収猶予申請手続

入学料徴収猶予を申請する場合は、申請に必要な各種証明書を不足のないように揃えて入学料徴収猶予申請書とともに、下記申請書の提出期間(入学手続期間)中に学生部入試課へ提出してください。

区 分	申請書類の請求	申請書類の提出(入学手続期間)	提出書類
前期日程	平成26年1月 6日(月)から	平成26年3月15日(土)まで	・ 入学料徴収猶予申請書 ・ 申請書に添付されている説明書に記載してある各種証明書
後期日程		平成26年3月27日(木)まで	

(4) 注意事項

- ① 入学料徴収猶予の申請者には、選考結果の通知があるまで入学料の納入が猶予されます。
- ② 選考の結果、不許可になった者が、告知された日から14日以内に入学料を納入しない場合は、除籍となるので注意してください。
 また、徴収猶予が許可された場合においても、平成26年9月30日(火)までに入学料を納入しなければなりません。納入しない場合は、除籍となるので注意してください。
- ③ 選考のため、調査書の学習成績評定及び入学試験成績を参考とする場合があります。

4. 授業料の納入

授業料の納入方法は、本学指定の銀行が、学生等の開設した預金口座から自動的に授業料を口座振替する「預金口座振替制度」となっています。手続きについては、合格通知書とともに送付するパンフレット「授業料の納入について」を参照してください。

授業料 前期分 267,900円（予定）（年額 535,800円（予定））

（注）上記の金額は予定額であり、入学時または在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

5. 授業料免除

(1) 授業料免除の対象者

- ① 経済的理由によって授業料を納入することが困難であり、かつ、学業成績が優秀である者
 - ② 入学前1年以内（平成25年4月から平成26年3月の間）に、学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納入が著しく困難である者
- ①又は②の事由に該当する者で、授業料免除を願い出た者に対し、選考の上、納入すべき前期分授業料の全額、半額又は一部を免除することがあります。

(2) 授業料免除申請書類の請求

- ① 金沢大学のHP（金沢大学学生支援サイト）からダウンロードして使用してください。
<http://ghp.adm.kanazawa-u.ac.jp/archives/187.html>（平成26年度用申請書類は、平成26年1月中旬に掲載予定です。）
- ② 郵便で請求する場合は、封筒の表に「授業料免除申請書類請求」と朱書きし、申請理由、本人氏名、電話番号、受験学域学類等名、受験番号を記入した書類（様式自由）及び受信者の郵便番号、住所、氏名を記入した返信用封筒（角形2号：24

cm×33.2 cmに200円分の切手を貼付)を同封し49ページの照会先に送付してください。日数に余裕がない場合は470円分の切手(速達料金を含む。)を貼付してください。

(3) 授業料免除申請手続

申請書類の請求	申請書類の提出期間	申請書類の提出先	提出書類
平成26年1月6日(月)から	平成26年3月17日(月)から4月1日(火)まで(必着) 土曜日及び日曜日を除き 午前9時から午後5時まで	合格通知書とともに送付する「入学手続要項」を参照	・授業料免除申請書 ・申請書に添付されている説明書に記載してある各種証明書

(4) 注意事項

- ① 授業料免除を申請する場合も、「預金口座振替依頼書」は必ず提出してください。
 - ② 授業料免除申請者は、選考結果の通知があるまで授業料の納入を猶予しますので、その間、授業料の口座振替は行いません。
 - ③ 選考のため、調査書の学習成績評定及び入学試験成績を参考とする場合があります。
 - ④ 申請は、前期分・後期分でその都度受付けていますが、前期分及び後期分の授業料免除の申請を一括して前期に申請できる(後期分については、申請を省略することができる)前期後期一括申請もできます。ただし、以下1～5に該当する者については、前期後期一括申請をすることはできません。後期申請期間内に後期分の申請を行う必要がありますのでご注意ください。
 1. 家族の中に60歳未満で無職(15歳未満の者及び就学者は除く)の者がいる場合
 2. 家族の中に長期療養中の者がいる場合及び家計支持者が別居している場合
 3. 6ヶ月以内に退職金・保険金等一時所得がある世帯の場合
 4. 前期分と後期分で申請内容(家計状況・家族状況・就学状況等)が変わる見込みが少しでもある場合
(例)学生本人が後期からアルバイトをする予定である、社会人である兄弟等が家族と別居し独立する予定であるなど
 5. 年度内に休学、退学を予定している場合
- また、前期後期一括申請をした場合でも、選考は学期ごとに行います。したがって、前期と後期で、選考結果が異なる場合もあります。(後期分授業料免除申請時期：毎年9月中旬)

6. 金沢大学学生特別支援制度

金沢大学独自の給付型奨学金制度です。

概要

学業部門

学域学生の中から学業成績が特に優れている者を選考し、奨学金を給付します。

研究奨励部門

- ・学士課程学生の個人又はグループの優れた研究を対象に、経費を助成します。
- ・修士課程、博士課程及び専門職学位課程の学生を対象に、学会派遣等経費を給付します。

国際交流部門

- ・私費外国人留学生の中から学業、人物ともに優れている者を選考し、奨学金を給付します。
- ・本学と派遣留学制度で学術交流協定を締結する海外の大学へ留学する学生を対象に、奨励金を給付します。

キャリア教育部門

日本企業の海外展開等に興味・関心のある学生を、海外インターンシップ支援として北陸銀行に推薦します。

他の支援制度との関係について

(1) 他の奨学金について

日本学生支援機構奨学金等の奨学金を給付又は貸与されている場合であっても本奨学金の給付対象となります。

(2) 授業料免除制度について

本奨学金を受給していても、本学の授業料免除制度により免除を受けることは可能です。

7. 奨学金

奨学金には、日本学生支援機構奨学金、地方公共団体及び民間育英団体のもの等があります。奨学生は、主に学業成績が優秀で、経済的理由により学資支弁の困難な学生が対象となり、選考の上、決定されます。

(1) 日本学生支援機構

① 第一種奨学金（無利子貸与制度）、第二種奨学金（有利子貸与制度）があります。

貸与希望者は、学生支援課が行う説明会に出席してください。日時等の詳細は入学後に奨学金関係の掲示板等で確認して下さい。

種 別	貸与月額（平成25年度実績）	備 考
第 一 種 （ 無 利 子 ）	自宅通学者 30,000円 45,000円	本人が、貸与月額を選択できます。
	自宅外通学者 30,000円 51,000円	
第 二 種 （ 有 利 子 ）	30,000円	
	自宅、自宅外 50,000円	
	通学共通 80,000円 100,000円	
	120,000円	

② 大学予約奨学生の進学届について

高等学校又は中等教育学校在学中に日本学生支援機構大学奨学生予約採用候補者となっている者は、「採用候補者決定通知（進学先提出用）」及び角形2号の封筒（返送用（要切手貼付））を学生支援課へ提出してください。（詳しくは、「入学手続要項」及び掲示でお知らせします。）

(2) その他の奨学金

地方公共団体、民間育英団体などの奨学金があります。

入学後に奨学金関係の掲示板に募集一覧等が掲示されますので、希望する者は、掲示の指示に従ってください。

8. 学生寮

(1) 学生寮（学生寄宿舍）の概要

本学には、次の3寮があります。

食事は、各寮とも平日の夕食だけです。入浴は、寮内で決定する日程に従ってください。

寮 名	男 子		女 子
	ほく めい りょう 北 溟 寮	せん がく りょう 泉 学 寮	ほく ばい りょう 白 梅 寮
完成年月日	昭和43年3月25日	昭和40年2月27日	昭和39年3月31日
所 在 地	〒921-8036 金沢市弥生 1丁目26番5号	〒921-8031 金沢市野町 5丁目8番10号	〒921-8034 金沢市泉野町 2丁目13番1号
定 員	314人	168人	140人
募 集 人 員	約200人		約40人
構 造	鉄筋コンクリート4階建		
居 室	13.2㎡（約8畳）、1部屋に2人、机、椅子、本棚、物入れ付き		
共 同 施 設	食堂、自炊室、洗面・洗濯室、浴室、娯楽室、静養室など		
生 活 費	寄 宿 料	月額 700円	
	食 費	一食 300～400円（夕食のみ）	
	運 営 費	月額 約7,000円（光熱水料、その他）	

(2) 入寮願の請求

学生寮への入寮希望者は、下記のいずれかの方法で入寮願を取りよせてください。また、男子寮と女子寮では、入寮願が異なりますので注意してください。

- ① 金沢大学 HP（金沢大学学生支援サイト K-WING）からダウンロード

<http://ghp.adm.kanazawa-u.ac.jp/archives/196.html>

- ② 郵送による請求

返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm 受信者の郵便番号・住所・氏名を明記し、90円切手を貼付）を学生支援課学生相談係あて送付してください。また、返信用封筒を送付する封筒の表には「男子寮入寮願請求」又は「女子寮入寮願請求」と必ず朱書きをしておいてください。

なお、入寮願の提出期間までに日数の余裕がない場合は、返信用封筒及び送付用封筒に速達料金分の切手(270円)を追加しておいてください。

（請求先 49ページ参照）

(3) 入寮願の提出期間等

区 分	提 出 期 間	入寮願の提出先	選 考 結 果 の 発 表
前期日程	平成26年2月14日（金）～ 平成26年2月20日（木）（必着）	請求及び 照会先に同じ	平成26年3月10日（月）
後期日程	平成26年3月7日（金）～ 平成26年3月13日（木）（必着）		平成26年3月24日（月）

提出期間後の入寮希望者については、欠員がある場合に限り、入寮を許可することがあります。

(4) 注意事項

女子寮の入寮願の提出時には、主たる家計支持者の所得に関する証明書類が必要となります。提出期間に間に合うようあらかじめ「平成25年分の源泉徴収票又は確定申告の写（平成25年分の確定申告前の場合は平成24年分の所得・課税証明）」を準備しておき、入寮願提出時にあわせて提出してください。入寮願の請求時に添付する必要はありません。

また、両親が共に有職者である場合は、所得金額確認のため父母両方の所得に関する証明書類が必要となります。

9. アルバイト

学資補助のためやむを得ずアルバイトをする学生のために、金沢大学生生活協同組合においてアルバイトの紹介業務を行っています。

10. 保健管理センター

保健管理センターでは、学生の心身の健康の保持及び増進を図るため、医師、カウンセラー、看護師等によって、定期健康診断をはじめ、健康相談、健康指導、学生相談、応急措置等を行っています。

11. 学生教育研究災害傷害保険

学生教育研究災害傷害保険は、学生が①国内外における教育研究活動中の急激かつ偶然な外来の事故、②通学中の事故・学校施設等相互間の移動中に発生した事故によって身体に傷害を被った場合の救済のため、全国の大学・短期大学の学生を対象とし、公益財団法人日本国際教育支援協会が取り扱っている補償制度です。

本学では、学生生活における事故等に備え、必要な保険に加入することを強く推奨しています。

12. 携帯型パソコンの用意について

(1) 本学での学習、研究生活

インターネットが広く普及した現代のネットワーク社会で活躍できるように、本学の教育目標では、理系・文系を問わず「高度情報化社会に対応できる情報処理の基礎能力・総合力を持った人材育成」を重視しています。キャンパス内のほとんどの場所で無線 LAN 整備が完了し、ポータルサイト「アカンサスポータル」がネットワーク利用の入り口となっています。

入学生の皆様にはそれぞれ携帯型パソコンをご用意いただき、ネットワークに接続してアカンサスポータルに入り、パソコ

ンから履修登録、授業での教員との連絡、e-learning教材による自習、レポートの提出、成績確認等を行います。更に、健康診断結果や、就職支援をはじめ学生生活全般に関する情報の取得や連絡がネットワークを介して行われます。入学後すぐの1年次前期には、全学生必修科目「情報処理基礎」が開講され、各自の携帯型パソコンを教室でネットワークに接続し、情報ネットワークの安全な利用方法、各学類毎に必要なソフトウェアの利用方法等を学びます。

特別な事情がない限り、本学入学時までには携帯型パソコンをご用意ください。

(2) 携帯型パソコンの条件

平成26年度入学生のための携帯型パソコンの必要条件、金沢大学生協から提供予定の金沢大学オリジナルモデルの案内については、合格通知の際にお知らせします。必要条件を満たしているパソコンをお持ちの場合には新たにパソコンを購入いただく必要はありませんが、新規購入を検討される場合には、合格通知に同封される情報をご確認の後に購入して下さい。

(3) マイクロソフト包括（全学）ライセンスについて

本学ではマイクロソフト社のソフトウェア（Office等）についての包括（全学）ライセンス契約を平成26年度も継続する予定です。この場合、本学の新入学（編入）生は、Officeソフトウェアを金沢大学生協にて1千円で購入可能です。

(4) 携帯型パソコンの無償貸与について

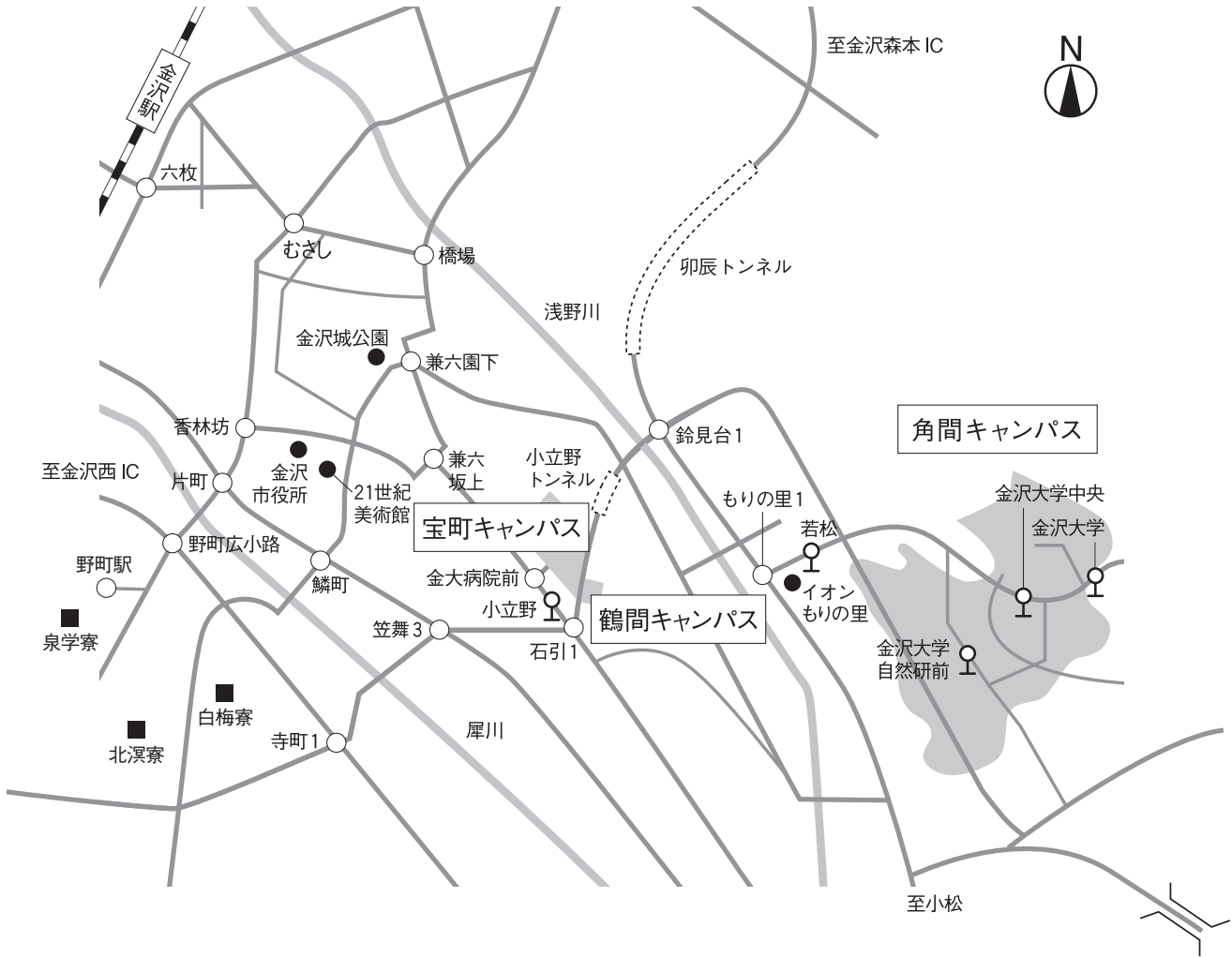
経済的事情により携帯型パソコンを用意することが困難な場合には、大学所有のパソコンを半年間（更新も可能）無償貸与します。入学料免除申請者および入学料徴収猶予申請者を対象学生としますので、これらの申請時に貸与の申し込みを行って下さい。

13. 申請書類等の請求及び照会先

項 目	請 求 及 び 照 会 先			
○入 学 料 免 除 ○入 学 料 徴 収 猶 予 ○授 業 料 免 除	〒920-1192	金沢市角間町 学生部学生支援課	学生支援係	電話 076-264-5164
○奨 学 金 (私費外国人留学生を除く)	〒920-1192	金沢市角間町 学生部学生支援課	学生支援係	電話 076-264-5170
○学 生 寮	〒920-1192	金沢市角間町 学生部学生支援課	学生相談係	電話 076-264-5167
○奨学金(私費外国人留学生)	〒920-1192	金沢市角間町 国際機構支援室	留学生係	電話 076-264-5193
○学生教育研究災害傷害保険	〒920-1192	金沢市角間町	保健管理センター事務室	電話 076-264-5254

キャンパスマップ

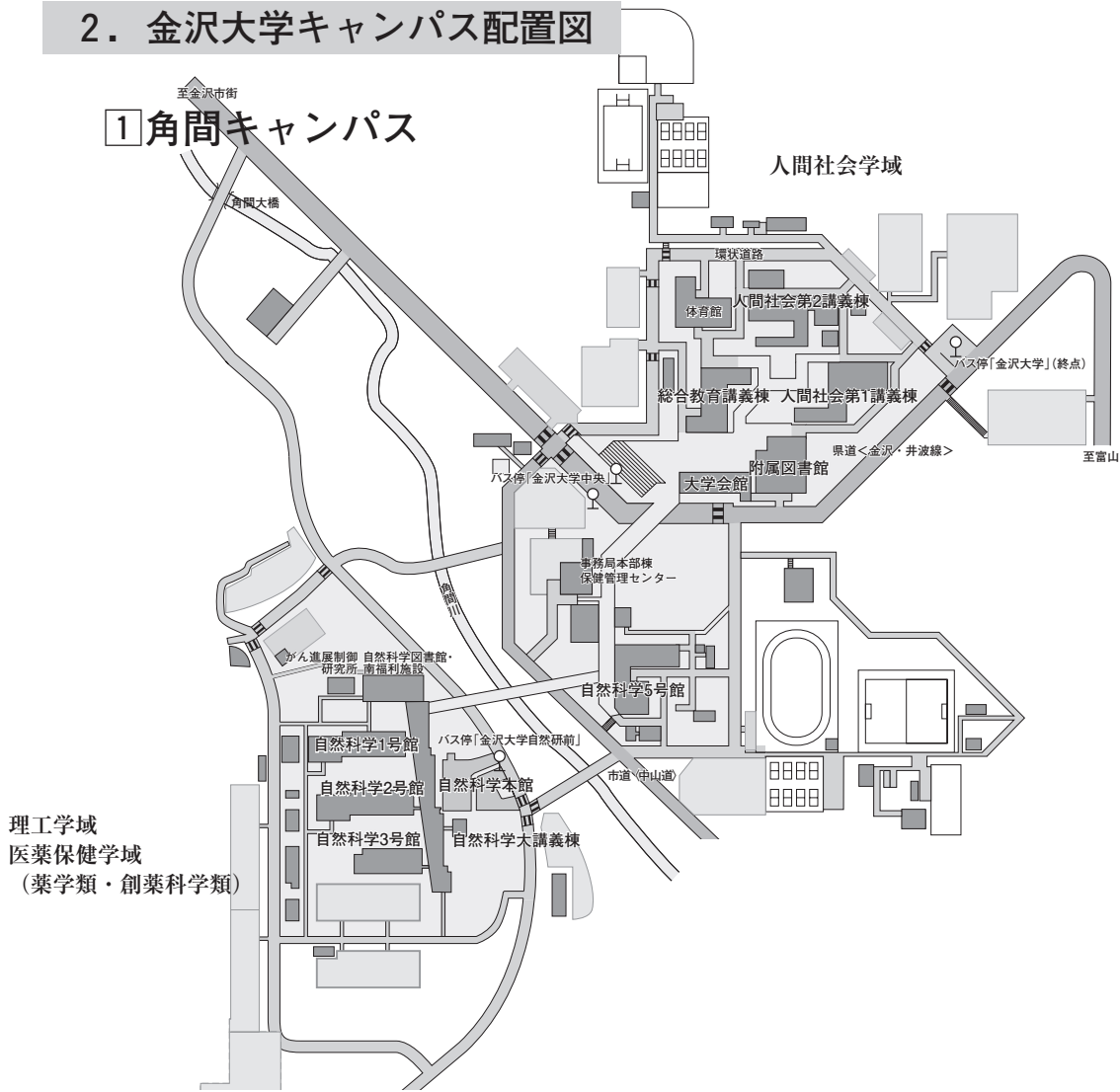
1. 金沢大学所在地略図



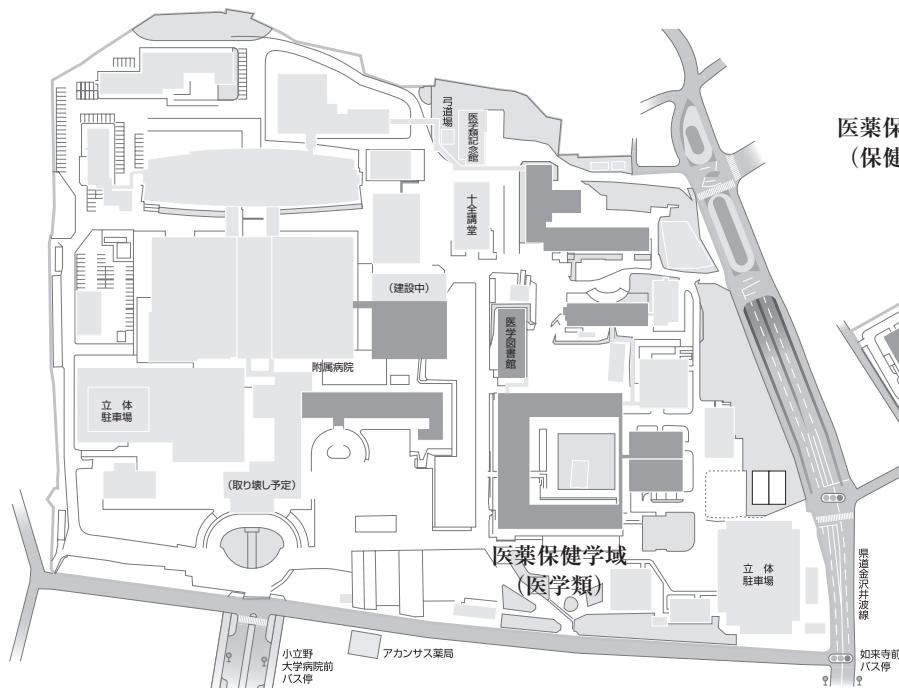
キャンパス名	学 域 等	交 通 機 関	
かくま 角 間	事務局(学生部) 理 工 学 域 医 薬 保 健 学 域 (薬 学 類) (創 業 科 学 類)	・ JR 金沢駅東口バスターミナルから北陸鉄道バス 「金沢大学」行き乗車	
	総 合 教 育 棟 大 学 会 館		「金沢大学中央」下 車 約38分
	人 間 社 会 学 域		「金沢大学」終点下 車 約40分
たから 宝	医 薬 保 健 学 域 (医 学 類)	JR 金沢駅東口又は西口バスターミナルから北陸鉄 道バス「湯涌温泉」「東部車庫(橋場町経由)」「北陸 大学」「金沢学院大学(橋場町経由)」行きのいずれ かに乗車	
つる 鶴	医 薬 保 健 学 域 (保 健 学 類)		「こだつの 小立野」又は 「大学病院前」 下 車 約20分

(注) 乗り場のあるバスターミナルを事前に確認した上で、利用してください。

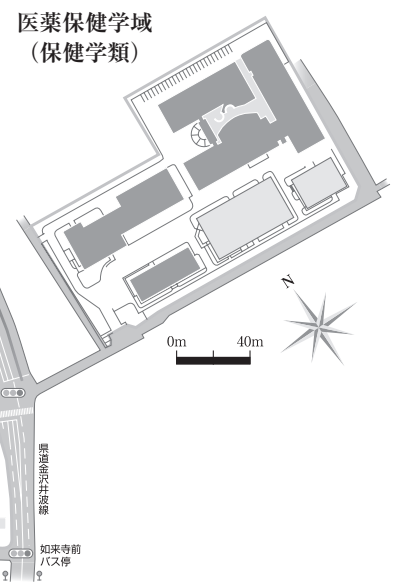
2. 金沢大学キャンパス配置図



2 宝町キャンパス



3 鶴間キャンパス



この学生募集要項を希望される方は、以下のいずれかの方法によって申し込んでください。

1 金沢大学のホームページから資料請求をする場合

金沢大学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。
詳しくは、金沢大学入試情報ホームページ
(<http://www.kanazawa-u.ac.jp/enter/admission/index.html>) をご覧ください。

2 テレメールで請求する場合（インターネット，電話）

(1) インターネット（携帯電話・パソコン・スマートフォン）又は電話を利用してください。

 テレメール	インターネット (携帯電話・パソコン・スマートフォン)の場合	電話の場合	
	http://telemail.jp バーコード 	IP電話	050-8601-0101 (一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。)

(2) 資料請求番号（6桁）をプッシュ又は入力してください。（携帯電話・スマートフォンでバーコードを読み取りアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。）

資料名	資料請求番号	送料
一般入試学生募集要項	957970	210円
一般入試学生募集要項＋大学案内	957971	340円

(3) ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。

※ テレメールをご利用済みの方はお届け先の登録は不要です。

※ 請求から2～3日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては4日以上かかる場合もあります。5日以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。

なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

※ 料金はお届けする資料に同封の支払い方法に従ってお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要になります(ケータイ払いは50円。コンビニ支払いは84円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円、窓口扱いは120円。複数資料の料金をまとめて支払うことができます。)

3 郵便局で請求する場合

郵便局（旧普通郵便局に限る）に設置されている「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項（願書）請求申込書」（郵便局用願書請求カタログ）に必要事項を記入のうえ、料金（2(2)の表と同じ）と払込手数料120円を添えて、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口で申し込んでください。受付から1週間程度で送付されます。（発送開始以前の申し込みは発送開始の翌日から3日程度で届きます。）

→ 1, 2, 3の方法による請求についての問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102

(午前9時30分から午後6時まで)

4 金沢大学へ直接請求する場合

郵送を希望する場合は、受信者の郵便番号、住所、氏名を明記し210円分の郵便切手を貼付した返信用封筒（角形2号約33cm×約24cm）を同封のうえ、封筒の表に「一般入試学生募集要項請求」と朱書きし、請求してください。

なお、同時に「大学案内」を希望される方は、210円に代えて340円分の郵便切手を貼付してください。

請求先・問い合わせ先

金沢大学学生部入試課入学試験係

〒920-1192 金沢市角間町

電話 076-264-5169, 5177~5179

電話での問い合わせは平日（月～金）午前9時から午後5時までに行ってください。